

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

# 目 次

## 令和2年度 秋田県社会福祉事業団事業報告書

	ページ
I. 概 況	1
II. 施設別の概要	
秋田県北部老人福祉総合エリア	9
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	11
秋田県南部老人福祉総合エリア	13
高清水園	19
秋田県心身障害者コロニー	21
由利本荘地域生活支援センター	25
阿桜園	27
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	29
障害者支援センター御所野	31
秋田県点字図書館	33
秋田県聴覚障害者支援センター	35
III. 公益的な取組	
法人本部	37
高清水園	38
秋田県心身障害者コロニー	39
由利本荘地域生活支援センター	42
阿桜園	43
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	44
障害者支援センター御所野	45
秋田県点字図書館	46
【資料】	
1. 組織	47
2. 施設の概要	48
3. 施設のサービス利用状況	49
4. 役員等	51
5. 会議等	52
6. 職員	55
7. 研修の実施状況	57
8. 苦情解決処理状況	75
9. 虐待防止委員会の開催状況	77
10. ハイクオリティサービス推進システム	79
11. 地域密着型サービス外部評価事業	79

# I . 概 況



当事業団の運営に当たっては、「5カ年経営計画」（平成28～令和2年度）に基づき、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に引き続き努めた。

また、「5カ年経営計画」の最終年度を迎え、これまでの取組を整理し、解決すべき課題と事業運営の取組方針・目標を明らかにし、職員が経営に参画できる仕組みである経営改善検討チームによる検討を踏まえた今後5年間の「5カ年経営計画」（令和3年～7年度）の策定をした。

## **組織管理**

### **1 経営体制の強化**

新たな試みとして、職員が経営に参画できる経営改善検討チームを設置し、チーム内での検討内容を反映した「5カ年経営計画」（令和3年～7年度）を策定するとともに、県有施設等の指定管理期間の最終年度であることから、次期指定管理の申請を行い、老人福祉総合エリア及び点字図書館を令和3年～7年度も引き続き受託することとした。

また、引き続き社会福祉法人改革を踏まえ、経営組織のガバナンスの強化や透明性の高い運営に努めた。

#### **① 県有施設等の経営**

秋田県から無償貸与された施設、指定管理している施設等について、適正な経営に努めるとともに、各老人福祉総合エリアの経営状況を検証し、次期指定管理を受託することとした。

南部老人福祉総合エリアのあり方については、引き続き秋田県及び横手市と協議を継続することを確認した。また、赤字運営の解消に努める中で、かねてから横手市に要望していた養護老人ホームの民間給与改善費が、令和3年度から予算措置されることとなった。

今年度より、新たに受託した秋田県聴覚障害者支援センターについて、コロナ禍の影響から人材養成に係る研修を実施できないなど、本来の機能を十分に発揮できない中であっても、積極的な相談支援や情報提供及びセンター内の環境整備に努め、訪問者が前年度を大幅に更新し、次年度以降の事業拡大に向けた足掛かりを作ることができた。

#### **② 自主設置施設の経営**

平成31年4月に開設した障害者支援センター御所野（定員40名）の収支状況が安定し、黒字決算となった。

また、令和3年からの人員配置や事業運営を見直し、由利本荘地域生活支援センターにおける赤字運営の解消について努めた。また、利用者のニーズを踏まえて開設した2つ目の放課後等デイサービス事業所も軌道に乗り、定員超過の日も発生する等堅調な事業運営となった。

### ③ ガバナンスの強化

評議員会、理事会及び施設長会議を開催し、事業計画、予算、決算など重要事項について審議した。

区 分	開催日	主な決議・協議事項
評議員会	令和2年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度事業報告及び決算</li> <li>理事の選任</li> <li>会計監査人の選任</li> <li>役員等報酬規則の一部改正</li> </ul>
理事会	令和2年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染防止に向けた対応</li> <li>令和元年度事業報告及び決算</li> <li>評議員候補者の推薦</li> <li>理事の選任</li> <li>会計監査人の選任及び報酬</li> <li>評議員選任・解任委員会運営規則等の一部改正</li> <li>評議員選任・解任委員会委員の選任</li> <li>基本財産の増加</li> <li>定時評議員会の開催</li> <li>地域交流費等の執行状況</li> </ul>
	令和2年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長の選定</li> </ul>
	令和2年9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者公募への対応</li> <li>新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>職員採用試験の状況</li> <li>職員の処分状況</li> <li>評議員選任・解任委員会議事録</li> </ul>
	令和2年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度第1回補正予算</li> <li>職員採用試験の状況</li> <li>渉外費・研修研究費の支出状況</li> </ul>
	令和3年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織規則等の一部改正</li> <li>令和2年度第2次補正予算</li> <li>令和3年度事業計画</li> <li>令和3年度当初予算</li> <li>5ヵ年経営計画</li> <li>施設長等の任命</li> <li>役員賠償責任保険への加入</li> <li>令和3年度職員採用計画</li> <li>職員採用試験の状況</li> </ul>
評議員選任・解任委員会	令和2年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員の選任</li> </ul>
施設長会議	7回開催（5月、9月、10月、11月、12月、2月、3月）	
経営会議	1回開催（令和2年11月25日）	

#### ④ 監査体制の強化

会計監査人及び監事による監査のほか、本部職員による内部監査を実施した。

区 分	実施状況	内 容
監事の監査	令和2年5月29日	令和元年度事業報告及び決算
会計監査人の 監査	令和2年5月29日	令和元年度事業報告及び決算
	令和2年11月10日 ～2年11月13日	各施設（会計拠点区分）の期末監査
	令和3年1月19日 ～3年1月20日	各施設（会計拠点区分）の期中監査
	令和3年3月17日	事務局の期中監査
内部監査	令和2年10月12日～16日	施設の会計処理

#### ⑤ コンプライアンスの徹底

ハラスメント防止のための規程及び職員の懲戒処分に関する賞与の扱いを見直し、より実効性のある取扱いのための整備を進めた。

また、相談窓口となる相談・苦情処理委員について引き続き周知を行った。

#### ⑥ 危機管理対策の強化

非常時・緊急時等のメール一斉送信システムを活用し、緊急時を想定した連絡体制の強化を図ったほか、天候等による自然災害等の予防喚起を行った。

また、非常用備蓄食料、資器材等を計画的に整備し、災害時において利用者の安全の確保及び事業の継続が図られるよう体制の整備に努め、令和3年度から事業継続計画（BCP）の策定を進めることとした。

#### ⑦ 広報活動の推進

ホームページの更新及び機関紙等の発行による広報活動を中心に、コロナ禍における可能な限りの情報発信に努めた。

## 事業管理

### 2 質の高いサービス提供

権利擁護の徹底、福祉ニーズに即したサービスの提供、相談支援体制等の充実を図るとともに、既存の福祉制度では対応が難しい課題に対し、法人内で情報共有を図りながら地域の関係機関とも連携して取組を進めた。

#### ① ハイクオリティサービス推進システム（まごころシステム）の推進

福祉サービスの向上と危機管理を基軸に利用者本位のより高いサービスを提供する事業団独自のシステムの着実な運用を図り、ヒヤリ・ハットや苦情解決処理報告、自己評価や内部監査の評価、分析及び改善のプロセスを経て、システムの推進に努めた。

#### ② 権利擁護の徹底

法人として虐待防止に向けた取組を推進し、各施設の虐待防止責任者や虐待防止マネージャーで構成する虐待防止責任者会議を年3回開催、施設間での取組内容を共有して検証を行った。また、虐待防止チェックリストを活用した年2回以上の自己点検や、人権意識を高める研修を実施することで、権利擁護の意識づけを図った。

各施設においては、改正した利用者虐待防止マニュアルに基づき、施設内の虐待防止委員会を年4回以上、利用者や家族会の代表、苦情解決第三者委員から構成する虐待防止委員会を年2回以上実施した。委員会では伝達研修等により法人の取組みを周知するとともに、施設単位で独自の研修を開催するなどの取組みを行った。

#### ③ 福祉ニーズに即したサービスの提供

##### ・強度行動障がいに対応したサービスの充実

支援計画シート等作成担当者連絡会を実施し、重度障害者支援加算要件となる支援計画シート、支援手順書等の様式検討を行い、記載内容の確認や記載方法の注意点などについて意見交換を行った。

##### ・地域生活支援の充実

高清水園では、グループホームの集約化を進めるとともに、地域生活移行支援の拠点（サポートセンター）を整備した。

##### ・障がい児に対する専門的なサービスの提供

4施設で運営している放課後等デイサービスについては、事業所の自己評価を推進するとともに、利用者や家族からの要望の実現を図るためサービスの一層の向上を図った。また、阿桜園において多機能の重症心身障害児（者）通所事業の生活介護事業を「阿桜園生活介護事業」に繰り入れ、児童発達支援事業と放課後等デイサービスは10名定員の重症心身障害児も対象とする多機能事業所にするものの検討を進めた。

##### ・新型コロナウイルス感染症による活動制限下における取組

新型コロナウイルス感染症により、地域交流等様々な活動に制限がある中、オンライン環境を整え、オンラインでの学生との交流や会議、研修を実施した。

#### ④ 相談支援体制等の充実

相談支援連絡会において、情報交換や講師を招いての研修を実施することで、法人内の相談支援専門員の専門性の向上とネットワークづくりを目指した。また、地域の中核となる主任相談支援専門員の資格を有した職員の活躍や、地域生活支援拠点整備事業の一端を相談支援事業所が担うことで、他機関との連携により複合的ケースにも対応できる相談支援体制等の充実に努めた。

#### ⑤ 地域における公益的な取組

コロナ禍において、外部との接触に制約がある中であっても、可能な限り地域の社会福祉協議会やNPO法人と連携し、施設が有する専門性を地域に提供することができるよう努めた。

##### ・事務局

フードバンク、制服リユース等を行うNPO法人に、食糧支援物資の運搬回収を中心とした人的支援を行った。

##### ・高清水園

コロナ禍において、三密を避けながらできる活動として、サポートセンター及びグループホーム周辺のクリーンアップ活動を行い、近隣住民と交流し相互に理解を深めた。

##### ・心身障害者コロニー

由利本荘・にかほ圏域に在住する障がい者を有する方、引きこもりの方やその家族を対象に、様々なイベントを開催した。また、コロニー就労支援事業B型と連携した生産物即売会も実施し、地域住民との交流も図った。

##### ・由利本荘地域生活支援センター

発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童に対する支援方法の理解を深める講演会を予定していたが、コロナ禍の状況を鑑み中止とした。

##### ・阿桜園

高齢者や障がい児者、ひきこもり状態にある方等を対象に陶芸教室を開催し、余暇活動を支援した。

##### ・やまばと園

湯沢市社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスを利用しておらず、家族以外との交流がない方を対象に創作活動、調理等を行う交流サロンを開催した。

##### ・障害者支援センター御所野

自宅での入浴が困難な方や自力での入浴が困難な方に特殊浴の体験をしてもらう活動は、コロナ禍の状況を鑑み実施に至らなかった。

##### ・点字図書館

新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めながら、小学校の点字体験学習の受入や夏休み点字図書館体験を開催し、点字への興味関心及び障がいの理解推進を図った。

#### ⑥ 利用者の満足度調査の実施

各施設による満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整え、受け付けた苦情等には迅速に対応し、職員への周知、申出人及び各施設に設置する第三者委員への報告を行った。

## 財務管理

### 3 財務基盤の強化

引き続き専門性の高い職員による充実したサービス提供に努め、その加算等により収益の確保を図るとともに、スケールメリットを生かした物品調達等による経費の節減に努めた。

#### ① 自立経営に向けた財源確保

引き続き中期的な経営状況を鑑み、県から譲り受けた高清水園、阿桜園の改築などを見据え、事業の展開に必要な資金の確保に努めた。

単位：百万円

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業展開積立金	当期積立	405	386	372
	当期取崩	▲824	▲16	▲3
	累計額	1,400	1,770	2,139

#### ② 計画的な施設・設備の修繕等

秋田県建築住宅センターから専門的なアドバイスを得ながら、老朽化している建物や設備の調査を行い、計画的な建物設備の修繕等に取り組んだ。

単位：千円

施設名	内 容	契約額
高清水園	居室タンス修繕	1,584
阿桜園	外壁屋根改修工事（設計費含む。）	20,820
心身障害者コロニー	銀杏支援課のトイレ改修	5,665
	錠前交換	8,547
南部軽費老人ホーム	食堂等エアコン更新	6,600
計		43,216

#### ③ 適切な予算管理及び会計処理

会計監査人及び監事の監査や指導を踏まえ、会計処理の改善を図った。  
また、定期的な内部経理監査を行い、適切な予算管理体制の構築に努めた。

#### ④ 共同契約

各施設が消費する灯油の共同単価契約を行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策として、早期に加湿器の確保に努め、共同購入により品薄状況においても一定のスケールメリットを生かした物品調達に努めた。

また、基幹システムである福祉の森のシステム契約を更新し、引き続き人事・利用者サービス管理・財務・給与を同システムで完結する体制による円滑な業務環境を維持した。

## 人事管理

### 4 人材確保及び養成

サービス提供を担う人材確保のため、就職説明会への参加等新型コロナウイルス感染症に配慮しながら取り組んだ。

一方、法人内から正職員を希望する契約職員が減少している等の新たな課題を認識し、次年度からの採用試験の展開における対応策について検討を進めた。

#### ① 人材の確保

専門性の高い人材を確保するため、オンラインでの情報提供を中心とした職員の募集強化に努めた。

また、事業団に対する理解を深めてもらうため、インターンシッププログラムなどの検討を進め、次年度以降の積極的な人材確保に向けて整備を進めた。

#### ② 正職員の確保

令和3年度採用予定者14名に対し、採用者が9名となったほか、早期退職者8名が生じたことにより、令和3年度は正職員数としては9名減となった。

コロナ禍という特殊な状況下での採用ではあったが、採用試験の周知活動不足、早期退職者の増等の課題が顕著となり、次年度以降の採用方法等の改善が求められる結果となった。

#### ③ 契約職員の待遇改善

入所施設の支援員の確保と職場定着を図るため、国の特定処遇改善加算を活用し、夜間勤務を行う職員を重視したさらなる賞与の引上げを行った。

例 経験・技能・夜勤有 20万円（令和元年度）→35万円（令和2年度）

#### ④ 継続雇用職員の活用

定年退職後もキャリアを生かした職務として、専門員という名称に改め、経験・ノウハウを生かした多様な働き方が選択できる環境づくりを進めた。

#### ⑤ 職員提案制度の活用

職員の提案に基づき、次のとおり業務改善を図った。

- ・施設の虐待防止委員会の代表者による虐待防止責任者会議を年3回実施することとし、各施設の取組事例の紹介・検証を行った。
- ・各施設にWEB会議システムを導入し、施設間の会議をオンラインで実施できるよう整備した。
- ・法人の業務に係る事項や、支援計画書及び記録の書き方等をまとめ、「文書・記録の手引き」として作成した。

## ⑥ 専門性を高める職員研修

利用者ニーズに基づいた支援内容について検討し、また利用者の行動特性に配慮した支援計画シートの作成について施設担当者間で検討し情報共有を図った。

区分	研修名	回数	受講者
階層別研修	新任等職員（令和2年度新規採用職員等）	2回	39人
	管理・監督職員研修（ハラスメント研修）	1回	22人
	中堅等職員研修（特別処遇改善加算対象研修等）	2回	105人
特別研修	相談支援連絡会	1回	16人
	支援計画シート作成担当者連絡会	1回	17人
	サービス管理責任者等連絡会	1回	20人
	実践発表会	1回	49人
一般研修	新型コロナウイルス感染症対策研修会	1回	15人
	障がい者雇用の体制づくりに関する研修会	1回	19人
	防災・災害対策研修	1回	22人

## ⑦ 強度行動障がい支援等のスキルアップ

県から受託した強度行動障害支援者養成研修や虐待防止・権利擁護研修を実施し、秋田県の障がい福祉の向上に寄与するとともに、施設における伝達研修を実施し、広く職員への理解浸透に努めた。

また、事業団独自に強度行動障害支援者養成研修のフォローアップ研修を開催するとともに、支援アドバイザーの指導・助言を受けながら障がい特性の理解や援助技術等の習得に努め、職員のスキルアップを図った。

研修名	回数	受講者
強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】	1回	51人
強度行動障害支援者養成研修【実践研修】	1回	47人
障害者虐待防止・権利擁護研修	1回	86人
強度行動障害支援者フォローアップ研修	1回	55人

## ⑧ 職員のキャリアアップ体系の明確化

法人のキャリアパス体系図を策定し、法人組織におけるキャリアアップイメージを明確化した。また、研修体系図について新たに変更し、「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」を法人研修として位置付け、令和3年度以降の開催について検討した。

## ⑨ 資格取得の奨励

介護福祉士等の資格取得への取組を奨励するなど職員の自己啓発を進め、自己研鑽及び業務遂行能力の一層の高揚を図った。

### ○ 新規資格取得者

・介護福祉士	9人	・保育士	1人
・社会福祉士	3人	・介護支援専門員	1人
・精神保健福祉士	1人	・公認心理師	1人

## II. 施設別の概要



## 秋田県北部老人福祉総合エリア

### ① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う影響により、例年どおりの営業活動は出来なかったが、「ニプロハチ公ドーム」(大館樹海ドーム)へ宣伝用の看板を設置した。
- ・広報面については、北部エリアの地元である大館市十二所地区の広報誌である「十二所だより」に毎月1回、エリアの各種事業などの情報を掲載したほか、大館市の広報誌へ各種教室などの情報を掲載した。特に、老人クラブ等の団体客獲得に関しては、テナントのレストラン(かづの庵)と連携して宴会プラン等のメニューを作り、集客に努めた。

### ② 教室の企画、開催

- ・趣味・生きがい活動の支援として各種教室を企画、開催した。
- ・常勤講師による陶芸・木工教室を定期開催した。
- ・外部講師による園芸教室・茶の湯教室・健康づくり教室・料理教室を随時開催した。
- ・特に料理教室は、エリア所有の農園で収穫した新鮮な野菜を食材として提供し、参加者からは好評を得ることができた。

### ③ イベント等の開催

- ・新型コロナに伴う影響により、毎年開催してきたイベント【(8月)夏祭り・(2月)感謝祭】及び県社会福祉協議会と共催による「進路ガイダンス・高校生福祉セミナー」を中止、同様に、高齢者の健康づくり事業であるグラウンド・ゴルフ大会は年2回の開催予定であったものが1回の開催にとどまり、ユニカール大会は開催出来なかった。
- ・「県の記念日」及び「敬老の日」は、例年通りの全部門に係る無料開放ではなく、新型コロナウイルス感染症対策により、一部門(屋外テニスコート)の無料開放を行った。

### ④ 世代間交流等

- ・世代間交流事業として、大館市内保育園児等と老人クラブの方々によるサツマイモの苗植えと収穫作業を行った。

### ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・国が発出している業種毎ガイドラインに基づき、マニュアルを作成し、新生活様式の徹底・ソーシャルディスタンスの確保及びクラスターが発生しないよう感染防止に努めた。

## 利用状況（エリア）

### 1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計（人）		比較増減
		令和2年度	令和元年度	
有料	休 憩	19,610	25,009	△ 5,399
	宿 泊	801	2,392	△ 1,591
	会 議 室 等	1,592	3,427	△ 1,835
	屋内運動広場	533	1,298	△ 765
	テニスコート	590	1,185	△ 595
	各種自主事業等	1,045	1,586	△ 541
	小 計	24,171	34,897	△ 10,726
無料	屋内運動広場	11,391	20,312	△ 8,921
	屋外運動施設等	625	1,552	△ 927
	各種自主事業等	3,426	13,068	△ 9,642
	視 察 等	129	190	△ 61
	小 計	15,571	35,122	△ 19,551
合 計		39,742	70,019	△ 30,277

### 2. 各種教室・講座の利用状況

（ ）内は開催回数

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
生きがい活動	有料	陶 芸	451 ( 113 )	725 ( 153 )	△ 274 ( △ 40 )
		木 工	320 ( 110 )	327 ( 131 )	△ 7 ( △ 21 )
		園 芸	8 ( 1 )	14 ( 2 )	△ 6 ( △ 1 )
		茶 道	82 ( 11 )	80 ( 12 )	2 ( △ 1 )
		その他の教室	184 ( 24 )	440 ( 45 )	△ 256 ( △ 21 )
		小 計	1,045 ( 259 )	1,586 ( 343 )	△ 541 ( △ 84 )

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
健康づくり	有料	スポーツ大会等	71 ( 1 )	317 ( 3 )	△ 246 ( △ 2 )
		小 計	71 ( 1 )	317 ( 3 )	△ 246 ( △ 2 )
交流活動	無料	交流イベント等	256 ( 9 )	8,141 ( 16 )	△ 7,885 ( △ 7 )
		小 計	256 ( 9 )	8,141 ( 16 )	△ 7,885 ( △ 7 )
その他	無料	映 写 会	1,460 ( 140 )	2,374 ( 168 )	△ 914 ( △ 28 )
		無 料 開 放	19 ( 2 )	336 ( 2 )	△ 317 ( 0 )
		ポイントカード等	1,620 ( 12 )	1,900 ( 12 )	△ 280 ( 0 )
		小 計	3,099 ( 154 )	4,610 ( 182 )	△ 1,511 ( △ 28 )
合 計		3,426 ( 164 )	13,068 ( 201 )	△ 9,642 ( △ 37 )	

### 3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年間利用者数	74,515	56,361	68,363	70,019	39,742

## 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

### ① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月11日から約1ヶ月間休館した。休館明けには来館者へ粗品を配布しお詫びとPRに努めた。また、メインイベントであるエリア感謝祭は感染状況を鑑みて中止としたが、その代替として来館者へ個装マスクとポケットティッシュを配布して利用促進を図った。
- ・毎月発行するエリアだよりを各市民サービスセンター（7カ所）や御所野町内会（15地区）へ配布、ホームページも随時更新し情報提供に努めた。また、毎月第2水曜日の他、県の記念日と敬老の日に休憩利用料の割引デーを実施した。
- ・秋田県プレミアム宿泊券の利用対象施設に登録し、利用促進とPRにも努めた。

### ② ニーズに基づいた創作教室の企画と開催

- ・地域住民の健康づくりや生きがい活動の支援として、創作教室（7教室）と水泳教室（シェイプ・一般）を通年で開催した。また、教室の体験を無料で随時受け付け、受講者の増員につなげた。
- ・夏休みに親子体験教室を開催した。七宝焼きでアクセサリーを作る創作活動を実施し、好評を得た。
- ・コロナ禍のため、ふれあい農園での世代間交流活動を中止し、職員のみでさつま芋の苗植えを実施した。秋にはささやかな収穫祭として保育園児を招き、職員とともに収穫を楽しんだ。

### ③ サービスの向上

- ・館内3カ所に設置しているアンケート箱へのご意見ご要望に対しては、職員間で把握し速やかに館内へ掲示した。また、口頭でのご意見ご要望にもしっかりと対応し、利用者へのサービス向上に努めた。
- ・コロナ禍だったが、職員の資質向上を図るため、できる限り各種研修会や講習会へ参加した。

### ④ 設備等の維持管理

- ・職員の自主点検や業者委託による保守点検を実施し、大きな事故となる前に修繕等を行い、利用者に施設を安全・安心に利用していただいた。

## 利用状況（エリア）

### 1. コミュニティセンターの利用状況

※単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和2年度	令和元年度	
有料	休 憩	31,572	39,558	△ 7,986
	宿 泊	787	2,650	△ 1,863
	会 議 室 等	11,299	25,279	△ 13,980
	屋 内 運 動 広 場	21,673	23,306	△ 1,633
	緑 地 運 動 広 場	2,817	3,407	△ 590
	陶 芸 室 等	2,429	2,786	△ 357
	プ ー ル	26,542	32,438	△ 5,896
	休憩&プールセット	326	706	△ 380
	各種自主事業等	2,738	7,165	△ 4,427
小 計	100,183	137,295	△ 37,112	
無料	屋 内 運 動 広 場	0	18,477	△ 18,477
	屋 外 運 動 施 設 等	109	245	△ 136
	各種自主事業等	406	1,089	△ 683
	視 察 等	0	18	△ 18
	小 計	515	19,829	△ 19,314
合 計		100,698	157,124	△ 56,426

### 2. 各種教室・講座の利用状況

※単位：人（ ）内は開催回数

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
有料	生 き が い 活 動	陶 芸	519 ( 43 )	551 ( 50 )	△ 32 ( △ 7 )
		フ ラ ワ ー	0 ( 0 )	114 ( 53 )	△ 114 ( △ 53 )
		茶 道	122 ( 22 )	178 ( 21 )	△ 56 ( 1 )
		その他の教室	29 ( 1 )	101 ( 17 )	△ 72 ( △ 16 )
		小 計	670 ( 66 )	944 ( 141 )	△ 274 ( △ 75 )
	健 康 づ く り 活 動	太 極 拳	380 ( 30 )	359 ( 28 )	21 ( 2 )
		ボ ー ル EX	283 ( 27 )	423 ( 70 )	△ 140 ( △ 43 )
		はつらつくらぶ事業	209 ( 12 )	849 ( 36 )	△ 640 ( △ 24 )
		健康づくり事業	328 ( 41 )	423 ( 58 )	△ 95 ( △ 17 )
	小 計	1,200 ( 110 )	2,054 ( 192 )	△ 854 ( △ 82 )	
	そ の 他	イ ベ ン ト 等	868 ( 0 )	4,167 ( 0 )	△ 3,299 ( 0 )
		小 計	868 ( 0 )	4,167 ( 0 )	△ 3,299 ( 0 )
	合 計		2,738 ( 176 )	7,165 ( 333 )	△ 4,427 ( △ 157 )

有料	健康	水 泳 教 室	868 ( 114 )	537 ( 127 )	331 ( △ 13 )
合 計			868 ( 114 )	537 ( 127 )	331 ( △ 13 )

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
そ の 他	無 料	ポイントカード	268 ( 268 )	311 ( 311 )	△ 43 ( △ 43 )
		無 料 開 放 等	0 ( 0 )	503 ( 28 )	△ 503 ( △ 28 )
		ボランティアルーム	138 ( 10 )	275 ( 23 )	△ 137 ( △ 13 )
合 計		406 ( 278 )	1,089 ( 362 )	△ 683 ( △ 84 )	

### 3. 利用状況の推移

※単位:人

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年 間 利 用 者 数	169,052	159,503	166,036	157,124	100,698

## 秋田県南部老人福祉総合エリア

### 【コミュニティセンター】

#### ① 利用者増に向けたPR活動の展開

・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、集客を目的とした営業活動は制限せざるを得なかった。

近隣地域への紙媒体での行事案内広告やホームページでの教室案内、ブログの更新等、通年行っていた広報活動についても、感染症予防対応によるコミセン休館により活動自体ができない時期もあった。

#### ② 地域ニーズに基づいた魅力的な教室及び行事の企画・開催

・消毒など感染予防対応をしっかりと行い、安心して教室に参加できることをアピールした上で教室を開催した。一部教室では人数制限をすることで、応募した教室に参加できない場面もあったが、ご理解を得ながら開催することができた。

・感染症予防の観点から、例年地域住民も参加する夏祭り等のイベントは、ほぼ中止となった。

・エリアの魅力模索のため、会議等で管理事業課職員からのアイデアを集め、実現の可否や効果等について話し合いを行った。また、生き生き学園教室参加者にニーズ調査を実施し、即時対応できる案件については改善、対応を行った。

#### ③ 設備等のチェックと早期改善に向けた対応

・職員による定期的なチェックと修繕計画に基づく修繕を実施、地域のお客様及び施設利用者の方々に安心した施設利用の提供できるよう努めた。

・更新が必要な設備については、県等関係機関及び関連業者とも情報交換を行い、今後の対応等について検証を行った。

#### ④ 関係機関との連携

・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、営業活動的な連携を図ることは難しかったが、感染予防対策としての情報共有等については、随時の連絡調整も含め連携を図ることができた。

### 【養護老人ホーム】

#### ① 利用者のQOL向上への取組

・利用者の身体状況等に変化があった際はアセスメントを行ってニーズを明確化し、必要なサービスが提供できるよう、居宅介護支援事業所等関係部署と連携を図りながら対応した。

・担当医師がリハビリが必要であると判断した利用者については、定期的に通院してリハビリを行ったほか、普段の生活の中で可能なことは取り組めるよう働きかけた。しかし施

設内でのリハビリには限界があり、十分な身体機能維持には至らなかった。また、各クラブ（健康体操、ごきげんクラブ、音楽クラブ等）への参加を募り、参加された利用者へは身体や手先を動かす機会の提供や歌を唄って気分転換が図れるよう努めた。外出に関してはコロナウイルス予防対策の中、なかなか思うように外出機会を設けることができず、可能な範囲で計画し対応した。趣味活動に関しても本人から要望があった利用者については、処遇計画に載せて活動の取組具合を見守って支援した。

## ② 住環境の整備

・本人からの要望や身体状況の変化等に伴って、ケアマネジャー等の専門職と連携を図りながら福祉用具の設置を始めとするハード面や、入浴・居室掃除のサービス等のソフト面を検討・提供し、利用者にとって安全・安心な生活が過ごせるよう対応した。

## ③ 健康管理

・年2回の定期健康診断、毎月1回の嘱託医診察を通じて健康管理に努めた。健康観察や健康相談については、状況によっては看護師を含めて対応策を検討し、職員間で周知し情報共有した。また、定期健康診断は勿論、不調の訴えがあった際の受診をきっかけに疾病の早期発見、早期治療ができた。

・今年度はコロナウイルスの感染予防・発生時の対応を最優先し、職員研修やエプロンテクニク、発生した際のシミュレーションを繰り返し行い、万全を図った。また、利用者へは都度県内のコロナウイルスの罹患者数や感染状況についての情報を提供し、協力を得るとともに、感染防止に努めた。合わせて家族や来訪者に対しても感染拡大防止について文書の送付やポスター掲示にて感染予防に努めた。

## 【軽費老人ホーム】

### ① 特定施設入居者生活介護事業のサービス水準の維持向上

・入居者は、徐々に利用希望者が増え8月には定員の25名に達している。その後は入退院もあり24～25名を行き来しているが、年度末は25名であった。今後も利用希望者増える見込みあり、来年度は、書類等の手続きが取れ次第、増床する予定で進めている。

・利用者の介護の重度化・高齢化・認知面の低下が著明になってきているが、ケアマネジャーが個々のニーズに合わせたプランを作成しており、残存能力の維持に努めている。

### ② 利用者のQOL向上への取組

・利用者一人ひとりのニーズに合った個別支援計画及びケアプランの作成・見直しを行い、日々充実し心が満たされた生活が送れるよう努めた。

・コロナ禍による面会・外出・外泊自粛により利用者の活動範囲が大幅に制限された事でADLや認知機能の低下が心配された為、可能な範囲で活動提供を行った。週単位で行われている健康体操・コーヒータイム・レクリエーションの他、軽費老人ホーム独自の夏祭りや花火大会、ミニかまくら鑑賞など行い、一味違った催し物に利用者も楽しまれていた。

・今年度は担当制をより生かした支援を行い、担当職員が一人ひとりに関わる時間を多く設けた事で安心した生活の提供が出来た。

### ③ 住環境の整備

- ・利用者の高齢化・身体機能の変化によって安全に生活出来るような環境整備を行い、必要時は本人の同意を得て福祉用具の設置を行った。
- ・入浴については、本人の身体の状態に応じて介助浴・特殊浴を活用し安心して入浴出来る体制を整えた。

### ④ 健康管理

- ・新型コロナウイルス流行に伴い、今まで以上に施設内消毒・手指消毒、換気を実施した。また、感染症予防対策及び発生時の拡大防止に努め、感染症発生時のロールプレイングを行い職員間で対応策の周知徹底を図り感染予防に繋がった。
- ・年2回の健康診断のほか、通院の付き添い(特定施設入居者生活介護利用者)、通院時の聞き取り、毎週実施している健康相談・血圧測定にて利用者の健康状態の把握に努めた。

#### 【老人専用マンション】

### ① 入居者増に向けた取組

- ・県南地区自治体及び居宅介護支援事業所等への広報活動実施し、入居問い合わせ・見学等に繋がったが、申し込みに至っていない。長期入居者3名が逝去され、入居者が4名まで減少している。

### ② 入居者のQOL向上への取組

- ・入居者の様々なニーズに応じて個別に支援実施。コロナ感染予防を図りながら県南地域の外出支援、パソコンやタブレット使用してのリモート面会、入居者主体の活動支援等工夫を凝らし実施した。
- ・定期的な行事に加えて、軽費老人ホームと合同で行事を開催する。ミニかまくら鑑賞は特に入居者に好評であった。

### ③ 住環境の整備

- ・入居者の身体状況及び環境変化に応じて、共同スペースのレイアウトを変更し、より快適な空間を目指した。
- ・1階玄関ロビーにWi-Fiを設置し、ネット環境を整備することで入居者の活動の場を広げた。

### ④ 健康管理

- ・転倒防止の取組として、定期的な健康体操の実施、入居者の自主活動への支援、また居宅支援センターとの連携を図りながら、身体状態の変化に応じて必要な福祉用具の利用等を勧め、転倒防止に努めた。
- ・感染予防対策として、施設内消毒・換気の実施。新型コロナウイルス感染予防マニュアルを周知し、標準予防対策の徹底を図ることで、感染予防に繋がった。

## 【居宅支援センター】

### ＜指定居宅介護支援事業所＞

#### ① サービスの向上に向けた取組

- ・住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることができるよう、総合的にアセスメントを行い、利用者やご家族からの要望等を考慮したケアプランの作成に努めた。
- ・サービス事業所を選択の際は、重要事項説明書を用いて説明を行い、複数のサービス事業所について提案し、利用者自身に選択できるよう努めた。

#### ② 事業所等との連携の強化

- ・地域ケア会議に出席し、会議内容を周知し、地域課題等の共有に努めた。また、研修等に積極的に参加し、各関係機関との連携強化にも努めた。
- ・訪問介護事業所、エリア内施設と連絡調整会議を定期的実施することにより、情報を共有し共通の認識での支援を行い、かつケアプランにも反映させることができた。

### ＜指定訪問介護事業所＞

#### ① サービスの向上に向けた取組

- ・毎月居宅支援センター会議を開催し、ケアプランに沿ったサービス提供ができているか、また3か月ごとにケアカンファレンスを行い、ケアプランが利用者のニーズに合ったものか確認している。

#### ② 事業所等との連携の強化

- ・毎月施設との連絡会を開催し、利用者の情報を交換し共有することができた。
- ・各居宅介護支援事業所へは、毎月モニタリング票で利用者の情報を提供している。

## 利用状況（エリア）

### 1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計（人）		比較増減
		令和2年度	令和元年度	
有 料	休 憩	5,518	11,054	△ 5,536
	宿 泊	41	708	△ 667
	会 議 室 等	48	355	△ 307
	屋 内 運 動 広 場	1,895	4,179	△ 2,284
	プ ー ル	4,872	5,181	△ 309
	セット券	37	44	△ 7
	各種自主事業等	2,065	3,728	△ 1,663
	小 計	14,476	25,249	△ 10,773
無 料	屋 内 運 動 広 場	13,709	22,560	△ 8,851
	屋外運動施設等	1,227	5,771	△ 4,544
	各種自主事業等	6,459	14,559	△ 8,100
	視 察 等	47	43	4
	小 計	21,442	42,933	△ 21,491
合 計		35,918	68,182	△ 32,264

### 2. 各種教室・講座の利用状況

（ ）内は開催回数

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
生 き が い 活 動	有 料	陶 芸	643 ( 159 )	890 ( 181 )	△ 247 ( △ 22 )
		民 芸	80 ( 14 )	188 ( 31 )	△ 108 ( △ 17 )
		水 泳	281 ( 84 )	0 ( 0 )	281 ( 84 )
		茶 道	92 ( 5 )	173 ( 9 )	△ 81 ( △ 4 )
		その他の教室	634 ( 106 )	1,803 ( 152 )	△ 1,169 ( △ 46 )
		小 計	1,730 ( 368 )	3,054 ( 373 )	△ 1,324 ( △ 5 )

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
健 康 づ っ け り	有 料	スポーツ大会等	261 ( 4 )	605 ( 11 )	△ 344 ( △ 7 )
		小 計	261 ( 4 )	605 ( 11 )	△ 344 ( △ 7 )
交 流 活 動	無 料	交流イベント等	882 ( )	4,998 ( )	△ 4,116 ( 0 )
		小 計	882 ( 0 )	4,998 ( 0 )	△ 4,116 ( 0 )
そ の 他	無 料	映 写 会	345 ( 34 )	773 ( 48 )	△ 428 ( △ 14 )
		無 料 開 放	0 ( 0 )	435 ( 2 )	△ 435 ( △ 2 )
		ポイントカード等	47 ( )	119 ( )	△ 72 ( 0 )
		小 計	392 ( 34 )	1,327 ( 50 )	△ 935 ( △ 16 )
合 計		1,535 ( 38 )	6,930 ( 61 )	△ 5,395 ( △ 23 )	

### 3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年間利用者数	88,428	79,646	81,482	68,182	35,918

## 利用状況（エリア）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
養護老人ホーム	50	45	50	49	17,616	48.2
軽費老人ホーム	50	46	50	47	16,605	45.5
内 特定入居者生活介護	25	22	25	25	8,737	23.5
老人専用マンション	24	7	24	4	2,041	5.6

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### （1）養護老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	2	3	3	2	0	0	10
女	1	4	8	10	4	0		27
計	1	6	11	13	6	0	0	37

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	1	7	6	14
女	0	0	0	0	1	11	23	35
計	0	0	0	0	2	18	29	49

#### （2）軽費老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	3	6	2	0	0	0	11
女	4	4	7	6	1	0	0	22
計	4	7	13	8	1	0	0	33

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	0	7	11	18
女	0	0	0	0	0	2	27	29
計	0	0	0	0	0	9	38	47

#### （3）居宅支援サービス

種 別	R2. 4～R3. 3延件数
指定居宅介護支援事業	700人
指定訪問介護事業	6,480人

## 高清水園

### ① 日中活動の充実

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定の事業遂行には至らなかったものの、各グループ活動で利用者個々の特性や興味を引き出す等、内容の充実に努めた。
- ・地域における公益的取組みとして、今年度新たにサポートセンター周辺のクリーンアップを実施。町内会やボランティアとの交流にも繋がり、地域交流の側面からも継続的、発展的交流事業としたい。

### ② 自閉症や特別な行動を持つ利用者への専門的な取組み

- ・『自閉症支援のための現場評価キット』研修受講者による評価キットの実践手法・評価実績を他職員にフィードバックし、個別毎の障がい特性に配慮した自立課題の提供に努めた。

### ③ 人材育成と研修体制の充実

- ・事業所外研修においては、新型コロナウイルス感染症の影響による中止を受け、所内研修による利用者支援の基礎に比重を置いた研修とし、人材育成に努めた。今後は、オンライン形式を積極的に取り入れ、研修体制の充実に努める。

### ④ 地域支援課の体制強化

- ・サテライト型グループホーム利用者に対する支援の組立について、個々の支援に必要なサポート体制について検討し、個別支援計画に反映させ取り組んだ。
- ・グループホームこまちとサポートセンターの移転によるグループホーム全体の集約化等のメリットを活かし、よりきめ細やかな支援体制と連携強化を図った。
- ・日中サービス支援型グループホームの開設を想定した支援プログラムについては、次期5ヶ年計画において継続的課題として検討していくこととした。

### ⑤ 人材確保と広報活動の推進

- ・ハローワークでの「CoCo de 面談会」への参加、求人検索エンジンサイト「Indeed」への求人広告有料掲載により、課題であるヤング・ミドル層求職者へ向けた人材確保を図った。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	88	85	88	83	29,699	81.4
生活介護	92	93	92	91	23,342	64.0
共同生活援助（GH結）	5	5	5	5	1,957	5.4
共同生活援助（GHみのり）	5	5	5	5	2,186	6.0
共同生活援助（GHあおぞら）	5	5	5	5	2,069	5.7
共同生活援助（GHさくら）	5	5	5	5	2,190	6.0
共同生活援助（GHこまち）	6	5	4	4	2,187	6.0
短期入所	8	40	8	40	40	0.2
放課後等デイサービス	10	23	10	23	1,806	7.7

種別	R2. 4～R3. 3延件数
相談支援（児童含）	820
日中一時支援	54

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	3	15	37	55
女	0	0	0	0	0	11	17	28
計	0	0	0	0	3	26	54	83

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	11	9	27	7	0	1	0	55
女	7	7	10	3	1	0	0	28
計	18	16	37	10	1	1	0	83

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	3	0	0	3	4	2	0	12
女	8	0	2	2	2	2	2	18
計	11	0	2	5	6	4	2	30

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	3	7	1	1	0	0	12
女	5	2	9	2	0	0	0	18
計	5	5	16	3	1	0	0	30

## 秋田県心身障害者コロニー

### ① 虐待ゼロへの取組

・利用者への不適切な対応については、市町村への通報や相談を行った。虐待防止委員会の体制も各支援課と全体の2階層の防止委員会を設置、人権侵害ゼロへの誓い、週間チェックリストを行った。また、人権擁護・倫理行動規範・虐待防止・動作制限等の研修を幾度も行い、虐待防止の強化に取り組んだ。

### ② 中・長期的視野に立ったサービス提供体制の構築

・就労継続支援B型事業の一部を地域で提供できる体制を試験的に実施した。しかし、コロナ対策の影響もあり、同作業を施設入所者と通所者と分けて行う事となり、職員の勤務の調整が難しく長期間実施できなかった。

・定員変更や課の再編を検討し、変更する事とした。利用者の疾病や身体状況と特性や個性を考慮し、利用者及びご家族への説明し、ご理解のもと寮移動や課移動を実施した。

・グループホームの今後の在り方や再編成についても検討し、利用者が地域住民として長く安心して過ごせる体制づくりに努めた。

### ③ 強度行動障がい関係準備委員会

・強度行動障がいに対応した専用棟の環境を活かし、他法人等からの研修の受入れを進めていたが、環境整備等により当初の予定を修正し、令和3年度より法人内職員を対象に研修を実施検証し、県内施設職員の研修受入れについては令和4年度実施に向けて進めている。

### ④ 全国コロニー協議会と創立50周年記念事業開催へ向けての準備

・第50回全国コロニー協議会はコロナ対策の観点からリモート会議にて行い、長年の懸案事項であった今後の協議会の在り方について協議し、新たな在り方を示すことができた。

・創立50周年に向け、準備委員会を開設し、協議・検討を行い、実施要項及びスケジュール等の素案を作成し、役割分担・資料等の収集を行い、開催に向け進めている。

### ⑤ 安定した運営体制の継続

・利用者の退所（自然減）が増加しているが、新たな利用者を受け入れることが非常に困難であった。減収減算がありながらも、適正な予算執行、経費の削減、利用の促進等に努め財政基盤の安定に尽くした。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	360	339	360	329	119,947	328.7
生活介護	400	326	400	313	83,968	230.1
就労継続B型	70	58	70	54	12,617	46.4
共同生活援助（GHわかまつ）	6	6	6	6	1,863	5.2
共同生活援助（GHやすらぎ）	6	6	6	6	2,190	6
共同生活援助（GHそよかぜ）	4	4	4	4	1,459	4
共同生活援助（GHはまなす）	4	4	4	4	1,460	4
共同生活援助（GHまつかぜ）	6	6	6	6	2,190	6
共同生活援助（GHしおさい）	5	5	5	5	1,825	5
共同生活援助（GHなでしこA）	5	5	5	5	1,765	4.9
共同生活援助（GHなでしこB）	4	3	4	4	1,352	3.8
共同生活援助（GHかもめ）	5	5	5	5	1,821	5
短期入所	5		5		285	0.8

種別	R2. 4～R3. 3延件数
日中一時支援	65

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	2	7	35	69		113
女	0	0	0	2	26	49	78	155
計	0	0	2	9	61	118	78	268

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	18	11	23	25	41	37	19	174
女	3	5	15	18	34	48	32	155
計	21	16	38	43	75	85	51	329

※10代3名を20代に含める

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	5	0	5	9	4	4	0	27
女	2	0	3	6	5	2	0	18
計	7	0	8	15	9	6	0	45

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	1	4	4	10	7	1	27
女	0	1	1	2	5	8	1	18
計	0	2	5	6	15	15	2	45

利用状況（コロナー診療所）

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
医 科	診療日数	193日	195日	203日	197日	190日	
	延べ 受診者 数	利用者	10,361人	9,093人	9,643人	8,959人	9,345人
		その他	142人	126人	133人	121人	113人
		計	10,503人	9,219人	9,776人	9,080人	9,458人
歯 科	診療日数	89日	60日	76日	83日	90日	
	延べ 受診者 数	利用者	733人	525人	647人	766人	731人
		その他	0人	0人	0人	0人	2人
		計	733人	525人	647人	766人	733人
計	診療日数	282日	255日	279日	280日	280日	
	延べ 受診者 数	利用者	11,094人	9,618人	10,290人	9,725人	10,076人
		その他	142人	126人	133人	121人	115人
		計	11,236人	9,744人	10,423人	9,846人	10,191人



## 由利本荘地域生活支援センター

### ① 支援体制の強化

- ・生活介護は定員30名に対し20名前後の利用で推移しており、令和3年度は定員を20名に変更することにより、余裕のあるスペースと支援体制を構築する。
- ・就労継続支援B型は作業種の見直し等により利用増を図ってきたが、平均利用人数は10名前後である。高齢化が著しいことからなかなか工賃増も望めない状態であり、令和3年度末での事業廃止に向けて準備を進めている。
- ・障害児通所支援は堅調であり、定員超過の日も多く、利用調整をしている状態だが、新事業所の開設については今後の課題である。
- ・相談支援事業所と基幹相談支援センターとの業務の棲み分けを進め、より専門性の高い支援体制を構築した。また相談員を1名増員し、よりきめ細やかな対応を実現した。さらに由利本荘市が進める事業へも積極的に対応し、地域生活支援拠点としての役割を担っている。

### ② 職員の人材育成と人材確保

- ・新型コロナウイルスへの対応のため開催が中止となる研修が多かったが、対策が十分になされたものやリモート対応の場合は、積極的に派遣もしくは参加し、人材育成と情報収集、共有に努めた。

### ③ 地域生活・地域移行の支援

- ・共同生活援助では高齢になっても可能な限り希望する生活が継続できるよう切れ目のない支援を続けた。併せて本人の思いに最大限配慮しながら、介護保険サービス等への移行も支援した。また、老朽化したホームは閉鎖を含めた再編を行い、安全性の確保と生活環境の改善にも努めた。
- ・3名の方にサテライト型住居による支援を実施し1名を単身生活につなげた。他1名は、ご本人の事情によりグループホーム本体住居へ入居となり、1名は令和3年度もサテライト型住居による支援を継続することになる。

### ④ 地域貢献活動

- ・ゆり支援学校の教育専門官による、発達障がいのある児童等に対する支援方法についての講演会を計画していたが、新型コロナウイルス蔓延の懸念があったため中止とした。来年度も発達障がいのある児童の家族や保育士、幼稚園教諭等を対象に、同テーマで特にペアレントトレーニングについての講演とグループワークを予定している。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
生活介護	30	38	30	39	5,140	18.7
就労継続B型	20	15	20	13	3,107	11.5
共同生活援助（GH御門A）	5	5	5	5	1,807	4.9
共同生活援助（GH御門B）	5	5	6	6	2,135	5.8
共同生活援助（GH清和A）	5	5	5	4	1,340	3.6
共同生活援助（GH清和B）	6	5	5	5	1,743	4.7
共同生活援助（GH朋A）	5	4	5	5	1,520	4.1
共同生活援助（GH朋B）	5	5	5	5	1,813	4.9
共同生活援助（GHめぐみ）	6	6	6	6	2,131	5.8
共同生活援助（GH菖蒲）	6	6	6	6	2,137	5.8
共同生活援助（GH若菜）	6	6	6	5	1,879	5.1
共同生活援助（GH虹）	5	5	5	5	1,825	5.0
共同生活援助（GH翼）	4	3	0	0	120	3.0
共同生活援助（GH三愛A）	5	5	5	0	1,771	4.8
共同生活援助（GH三愛B）	5	5	5	5	1,733	4.7
児童発達支援	10	7	10	6	221	0.8
放課後等デイサービス	20	45	20	53	4,704	17.6

種別	R2. 4～R3. 3延件数
相談支援（児童含）	1,713
障害児等療育支援	22
基幹相談支援センター	5,744
障害者就業・生活支援センター	3,609

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	25	0	6	3	5	3	0	42
女	7	0	0	6	1	1	0	15
計	32	0	6	9	6	4	0	57

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	2	14	9	6	9	0	42
女	0	2	4	2	1	6	0	15
計	2	4	18	11	7	15	0	57

## 阿桜園

### ① 事業等の見直しと支援体制の強化

- ・次期経営計画検討委員会等で事業の見直しや利用定員変更等に関する検討を実施した。多機能の重症心身障害児（者）通所事業の生活介護事業を「阿桜園生活介護事業」に繰り入れ、児童発達支援事業と放課後等デイサービスは10名定員の重症心身障害児も対象とする多機能型事業所にするのを検討した。また、利用定員は「阿桜園施設入所支援」を70名から60名に、「阿桜園生活介護」を80名から70名に変更する。
- ・利用者の特性を理解し、統一した支援を実践するために利用者個々の支援計画シートを作成した。

### ② 重度・高齢化への対応

- ・利用者の現状に即した福祉用具活用に向け、怪我や事故に繋がらないよう専門業者に相談しながら実施した。また高齢化を見据え、認知症研修を実施し支援スキルの向上に向け取り組んだ。
- ・成人西棟廊下に空調設備を設置し住環境の改善を図った。また昨年より引き続き「らくらく体操」等利用者個々の能力に合わせた活動を提供した。

### ③ 人材育成

- ・全職員を対象に虐待防止研修を実施した。特にロールプレイング研修を通して不適切な対応を実感し、グループワークにより適切な対応への考え方を共有することで虐待防止に対する意識改革を図った。
- ・支援アドバイザーの助言を基に各利用者の特性に応じた支援方法の検討をとおして、支援スキルの向上に努めた。

### ④ 安全対策

- ・近隣施設（横手市赤坂105地区の3施設等）との合同訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延により中止した。

### ⑤ 人材確保と職場定着

- ・福祉の仕事への理解を進めるため中学生を対象とした福祉セミナーを昨年に引き続き開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延により中止した。
- ・新規職員等と必要に応じて面談を行い、様々な悩みや困りごとに対応することによりストレスの軽減を図り、働きやすい職場環境づくりに努めた。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援(阿桜園)	70	64	70	60	22,094	60.5
施設入所支援(あざくら園)	40	39	40	38	13,544	37.1
生活介護(阿桜園)	75	69	75	65	17,372	50.1
生活介護(あざくら園)	40	39	40	39	9,929	30.0
生活介護(重症心身)	5	14	5	14	686	3.0
福祉型障害児入所	5	5	5	4	1,749	4.8
共同生活援助(GH希望Ⅰ)	5	5	5	5	1,793	4.9
共同生活援助(GH希望Ⅱ)	5	4	5	4	1,454	4.0
短期入所	4	4	4	0	1	0.0
児童発達支援	5	1	5	0	0	0.0
放課後等デイサービス(重度)		3		3	106	0.5
放課後等デイサービス	10	16	10	15	1,632	6.9

種別	R2. 4～R3. 3延件数
相談支援(児童含)	487
日中一時支援	197
障害児等療育支援	414

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### (1) 施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	11	21	40	72
女	0	0	0	0	2	6	18	26
計	0	0	0	0	13	27	58	98

#### 年齢構成（障害児入所・施設入所）

区分	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80以上	計
男	4	8	20	14	20	5	3	1	75
女	1	6	4	3	6	2	3	2	27
計	5	14	24	17	26	7	6	3	102

#### (2) グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	0	3	0	0	0	4
女	0	0	0	2	1	2	0	5
計	1	0	0	5	1	2	0	9

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	0	1	1	0	0	0	4
女	0	0	2	1	1	0	1	5
計	2	0	3	2	1	0	1	9

## やまばと園

### ① 安定的な事業の推進

・新型コロナウイルス感染症対策として、施設利用者の感染リスクの回避・低減を図るため、入所利用者と通所利用者の施設内活動スペースを分離し可能な限り通所利用者の受入に努め就労継続支援B型事業及び通所生活介護事業の継続を図った。また、放課後等デイサービス事業実施場所を緊急の措置として地域の公共施設に変更し、事業の停滞を招かないように対応した。

### ② 施設の延命化と重度高齢化対策

・施設保全と設備の長寿命化を目的とした令和3年度から7年度までの改修計画について湯沢雄勝広域市町村圏組合と協議を重ね、優先順位に応じた改修の見通しを立てることができた。

・利用者の重度高齢化による心身機能の低下を防止・維持するため、理学療法士による訓練プログラムを基に施設内で継続的に運動等を実施し支援の充実を図った。

### ③ 共同生活援助事業所の継続

・コロナ禍の影響で地域の生活行動にも支障をきたす中で、感染予防をしながら在宅ワークを取り入れる等、新しい生活スタイルの構築と現状体制の維持に努めた。

### ④ 広報活動の拡充

・コロナ禍の影響で利用者の外出及び面会・帰省等を制限したことで外部との接触機会が大きく減少し、園内行事も施設内のみで実施する等内容を変更したことから地域活動や交流は思うようにできなかった。

・地域交流の新たな形として、ICTを活用した地元高校生とのオンライン体操体験交流を開催した。

### ⑤ 利用者の権利擁護と職場環境の整備

・権利擁護に関連する研修を実施し職員の意識高揚を図った。また、日常生活支援の一場面で不適切な支援と思われる行為を職員自らが演じて、その関わり方や支援方法について討議する虐待防止ロールプレイング研修を毎月開催し、不適切な支援への個々人の気づきを養うとともに、職員同士が意見交換することで情報共有し風通しの良い職場環境づくりに努めた。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	60	59	60	59	21, 216	58. 1
生活介護	50	69	60	65	15, 595	45. 2
就労継続B型	10	10	10	11	2, 318	9. 1
共同生活援助（GHばってりー）	5	4	5	4	1, 505	4. 1
短期入所	8	15	8	3	120	0. 3
放課後等デイサービス	10	22	10	25	1, 985	8. 2

種 別	R2. 4～R3. 3延件数
相談支援（児童含）	401
日中一時支援	30
障害児等療育支援	173

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	11	12	16	39
女	0	0	0	1	2	9	8	20
計	0	0	0	1	13	21	24	59

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	9	7	15	3	3	2	0	39
女	1	6	8	1	3	1	0	20
計	10	13	23	4	6	3	0	59

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	1	0	3	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	3	0	4

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	2	2	0	0	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	2	0	0	0	0	4

## 障害者支援センター御所野

### ① 職員の資質向上

- ・法人内外の研修では研修目的や対象者別に人選し、参加職員のスキルアップが図れるよう効果的に行った。また、職員の自己啓発を勧め、資格取得を励行し、専門的な知識や技術の習得を図った。
- ・困難事例や利用者個々の支援方法について、グループ討議を実施する事で支援の情報共有を図った。支援アドバイザーの助言により支援に自信が持てるようになり、ストレス軽減にも繋げた。

### ② 働きやすい職場環境の整備

- ・定期的に面談を行い、職員の心身状況を確認し、悩みやストレスの軽減を図り安心して働ける環境改善に努めた。
- ・「働き甲斐」「働きやすさ」を求め、「励みになる言動」「傷つく言動」について全職員にアンケート調査を行い、結果を確認後合意事項とし実践した。

### ③ 権利擁護

- ・不適切支援を認識し、疑わしき支援を見聞きしていないか、日頃から職員間で情報共有を図り再発防止体制を整えた。また、罵声を浴びる、無視される等利用者側に立つ疑似体験を通して、支援対応を振り返った。
- ・人権擁護に関するスローガンを所内に掲示し、虐待について深く考える強化月間を設け、福祉のコンプライアンスも含め確認した。
- ・利用者が職員の支援をどう受け止めているのか、利用者と職員間でズレがないか確認し、その結果を利用者と身元引受人へ報告した。

### ④ 安定した自立経営の取組

- ・令和2年度は入所者36名からスタートし、契約解除者（逝去1名、施設移行3名）もあったが、年度末には39名となった。短期入所者は延べ49名である。
- ・入所者が満床に近づき光熱水費等の使用量は増となるが、想定内であったことから、引き続きコスト削減等周知し、安定した収支を図った。

## 利用状況（障がい施設）

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R2. 3. 31		R3. 3. 31		R2. 4～R3. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	40	36	40	39	13075	35.8
生活介護	40	38	40	40	10176	28.0
短期入所	2		2		443	1.6

種 別	R2. 4～R3. 3延件数
日中一時支援	0

### 2. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	13	6	6	25
女	0	0	0	0	3	4	7	14
計	0	0	0	0	16	10	13	39

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	3	1	6	10	2	0	24
女	1	2	3	2	6	0	0	14
計	3	5	4	8	16	2	0	38

## 秋田県点字図書館

### ① 貸出数減少要因の調査、分析

- ・令和2年度末の個人登録者数は708名で6名増となった。
- ・貸出は、前年度比で点訳図書は411タイトルで30%増、デジタイズ図書は7,154タイトルと5%増、音訳図書は169タイトルと30%減であった。
- ・定期刊行物は47タイトルを延べ9,900人に提供した。
- ・4月から秋田さきがけ新聞と朝日新聞のデジタイズ版を発行したこと、休日が連続した際に貸出数や貸出日数を増やすなど弾力に対応したことも貸出増につながった。

### ② スムーズな図書供給のための奉仕員の養成

- ・当館登録奉仕員は、点訳102名、音訳93名、製本15名の210名。
- ・今年度は点訳及び音訳奉仕員養成講座を実施し9名が修了した。また前年度修了者12名に対し、修了後の指導助言を行い育成に努めた。
- ・製作は、前年度比で点訳図書は240タイトルで40%増、デジタイズ図書は189タイトルで10%増、テキストデジタイズは37タイトルで20%減であった。
- ・点訳及び音訳奉仕員にパソコンと編集ソフト等を貸出し、蔵書等の製作活動を積極的、継続的にできる活動環境を整えるよう努めた。

### ③ 点字図書館のPR及び当事者団体及び関係機関との連携

- ・小学生の点字学習（7校）へ延べ19名の奉仕員を派遣した。
- ・中学生の職場体験（1校）は学校側からキャンセルの申し入れがされた。
- ・県内ボランティアグループの勉強会への講師派遣や技術指導等の依頼に協力した。
- ・館主催のイベントの「利用者懇談会」、「情報機器及び日常生活用具展示体験会」と「プチッと点字体験」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。
- ・館主催の「夏休み点字図書館探検」は小学生32名、大人23名が参加し、児童の総合学習と県民への啓発をすることができた。
- ・県条例の推進で「小中学生向け障害理解教室」（点字学習）を小学校（2校）で行った。
- ・秋田県発行の「障害者差別解消ハンドブック（一般向け・小学生向け）」の点字本と録音CDの製作の協力を行った。
- ・「秋田県版スマートサイト推進委員会」、「秋田県図書館等連絡会」等へ参画する機会を利用して当館の情報提供を行った。

利用状況(点字図書館)

1. 図書受入状況

令和2年4月～令和3年3月

区分	点字図書		テープ録音図書		デージー図書		テキストデージー		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
厚生省委託	37	96	0	0	69	69	0	0	106	165	25.24%
自館制作	174	611	0	0	97	97	33	33	304	741	72.38%
複製	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄贈	0	0	0	0	10	10	0	0	10	10	2.38%
計	211	707	0	0	176	176	33	33	420	916	100.00%

2. 分類別貸出状況

区分	点字図書 (含、FD)		録音図書 (テープ)		音声デージー (CD)		テキストデージー (CD)		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
0 総記	2	8	2	12	19	19	0	0	23	39	0.30%
1 哲学	21	65	8	44	88	88	0	0	117	197	1.51%
2 歴史	24	103	6	41	101	101	0	0	131	245	1.69%
3 社会科学	24	82	7	32	158	159	0	0	189	273	2.44%
4 自然科学	17	51	2	11	146	146	0	0	165	208	2.13%
5 技術	5	24	0	0	32	32	0	0	37	56	0.48%
6 産業	2	8	0	0	17	17	0	0	19	25	0.25%
7 芸術	11	33	3	13	97	97	0	0	111	143	1.44%
8 言語	4	12	0	0	23	23	0	0	27	35	0.35%
9 文学	301	1,300	141	1,166	6,473	6,492	0	0	6,915	8,958	89.41%
合計	411	1,686	169	1,319	7,154	7,174	0	0	7,734	10,179	100.0%

## 秋田県聴覚障害者支援センター

### ① 事業運営体制の構築

・初めての運営となり、手本とすべき他県の聴覚情報センターへの視察研修がまったく出来ない状況の中で、関係機関等からの情報を基に、手探りの運営となったが、ある程度の形を整えることが出来た。

### ② 各種事業の円滑な実施

・手話通訳者養成研修会Ⅰは大館市で、手話通訳者養成研修会Ⅱは由利本荘市で、手話通訳者養成研修会Ⅲは秋田市を会場に実施した。

12月5日には手話通訳者全国統一試験を実施した。

・要約筆記者養成講座に関しては、今年度はパソコンでの養成講座を実施し、1月には要約筆記者認定試験受験対策講座を開催し、要約筆記者認定試験を2月21日に実施した。

・盲ろう者向け通訳・介助員養成研修は、コロナウイルス感染拡大に伴い、研修自体が密の状況を避けられないとの判断で、今年度は養成研修を中止した。

・各種派遣事業については、コロナウイルス感染拡大に伴い、事業開始当初は利用が少ない状況であったが、次第に例年に近い利用となっている。

### ③ センター機能の強化

・センターの存在を当事者の方へPRするために、センター内のレイアウトを大幅に変更し、当事者の皆さんが訪問しやすいようにソファを設置し、手話と字幕の番組等を見るためのテレビを大画面のものに変更する等の工夫をすることで、前年度よりも訪問者は大幅に増加した。

・県ろうあ者相談員と手話通訳士が、能代市、大仙市、由利本荘市を会場に巡回相談会を初めて実施し、次年度以降の更なる事業の拡大の足掛かりを作った。

### ④ 人材育成

・コロナ禍という状況で、他県の聴覚情報センターの運営についての視察研修を実施することが出来ず、インターネット、オンラインによる情報収集に努めた。

・聴覚支援学校でのスクールソーシャルワークに、手話通訳士の他に、相談支援専門員有資格職員の協力を得て、ソーシャルワーク現場に同席してもらうことにより、手話通訳士の相談技術向上を図った。

### ⑤ その他

・今まで設置されていなかった苦情受付システムを導入し、2名の第三者委員の方を委嘱して、苦情のみならず運営についてのアドバイス等、広く意見を求めて運営の参考とした。

利用状況（聴覚障害者支援センター）

	令和2年度実績												令和1 年度実 績
	相談 件数	相談種別			相談内訳								
		電話・FAX	来所	訪問等	施設	生活	福祉サービス	年金・手当	医療・保健	職業	補装具	その他	
4月	19	2	12	5	1	12	1	0	1	0	0	4	11
5月	16	1	14	1	1	10	0	2	1	1	0	1	15
6月	15	0	12	3	0	8	2	1	1	0	0	3	13
7月	14	0	13	1	0	8	1	0	0	1	0	4	24
8月	26	0	23	3	0	18	1	0	1	0	0	6	21
9月	20	0	20	0	0	13	0	0	1	0	0	6	28
10月	17	0	16	1	0	9	0	0	2	0	0	6	19
11月	23	0	19	4	0	15	0	0	2	0	0	6	19
12月	21	0	17	4	0	17	0	0	0	0	0	4	17
1月	20	0	19	1	2	10	0	0	1	0	1	6	15
2月	16	0	16	0	0	11	0	0	2	0	0	3	19
3月	20	0	15	5	2	13	0	0	0	1	0	4	23
合計	227	3	196	28	6	144	5	3	12	3	1	53	224

(相談件数：延人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計
年間件数	2	0	6	0	6	29	145	32	6	1	227

(男女年代：実人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計	
男女別	男性	0	0	3	0	3	10	28	19	2	0	65
	女性	2	0	3	0	2	12	18	6	4	1	48

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月	4	1	4	1	6	2	3	7	3	5	5	5	46
火	4	5	5	5	7	3	4	3	4	3	2	2	47
水	4	2	2	3	5	5	2	4	6	6	4	3	46
木	3	1	1	1	2	8	2	5	3	2	1	5	34
金	4	7	3	4	5	0	6	4	5	4	4	5	51
土	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	19	16	15	14	25	18	17	23	21	20	16	20	227

### Ⅲ. 公益的な取組



## 地域における公益的な取組

### 本部事務局

<b>事業名</b>	秋田たすけあいネットあゆむとの共同活動及び秋田県地域公益活動事業への参画
<b>事業概要</b>	<p>&lt;目的&gt; NPO法人との共同活動や秋田県社会福祉法人経営者協議会が実施する秋田県地域公益活動事業への参画を通じ、地域が真に求める福祉ニーズを法人の活動にフィードバックする。</p> <p>&lt;対象者&gt; 共同活動であるためNPO法人のコンセプトに合わせた「助けを求める人」全てを対象とする。</p> <p>&lt;内容&gt; 主に支援物資を母子生活支援施設等に運搬することや老人福祉総合エリアに設置したフードボックスによる食料品支援を中心に活動した。 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、イベントの手伝い等については自粛した活動となった。</p>
<b>年間事業内容</b>	<p>&lt;支援物資の運搬・回収&gt; 概ね月1回を目標に、支援物資の運搬・回収のためマンパワーや車両の提供を行った。 また、秋田県社会福祉法人経営者協議会については、活動としては法人独自で行っているため、会費の納入をもって参画とした。</p>
<b>関係機関や団体等との連携状況</b>	<p>&lt;関係機関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人 秋田たすけあいネットあゆむ</li> <li>・秋田県社会福祉法人経営者協議会</li> </ul> <p>&lt;連絡調整&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人とは、令和2年度の活動事業について適宜打ち合わせを行いながら連絡調整を行った。</li> <li>・秋田県社会福祉法人経営者協議会とは、秋田県地域公益活動事業によるアンケートの回答等による連絡調整にとどまった。</li> </ul>
<b>決算額・内訳</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人への人的支援に係る人件費、車両費</li> <li>・秋田県社会福祉法人経営者協議会が実施する秋田県地域公益活動事業への参画（50,000円）</li> </ul>
<b>事業担当職員</b>	事務局 経営管理課 田賀糸 修
<b>事業の評価とまとめ</b>	<p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動について積極的な姿勢で臨むことが困難な状況にあった。</p> <p>秋田県地域公益活動事業によるアンケートにおいては、公益的な取組を行う状況下でないとの声もあったが、事務局としては、規模を縮小し、可能な範囲の活動を行った。</p>

## 地域における公益的な取組

施設名（ 高清水園 ）

事業名	サポートセンター及びGH周辺のクリーンアップ活動		
事業概要	<p>&lt;目的&gt;                  コロナ禍において、三密を避けながら、地域における公益的な活動の一環としてゴミ拾いなどクリーンアップ活動を通して施設の近隣住民との交流と地域への貢献を図り相互に理解を深める。</p> <p>&lt;対象者&gt;                  高清水園利用者、職員、GH利用者、町内会役員、ボランティア</p> <p>&lt;内容&gt;                  高清水園サポートセンター及びGH前の道路のゴミ拾いや草取りなどのクリーンアップ活動</p>		
年間事業内容	<p>第1回 令和2年10月18日（日）9:00～11:00                  高清水園サポートセンター周辺（秋田市広面樋ノ上34-1）                  秋田市立東小学校周辺（秋田市東通2-14-2）                  参加人数 職員6名 園利用者5名 GH利用者5名 町内会役員5名                  ボランティア2名 計23名</p> <p>第2回 令和2年11月8日（日）9:00～11:00 荒天のため中止</p>		
関係機関や団体等との連携状況	事業の企画段階で地域住民の代表である町内会長に開催の打診をしたところ快諾を得た。当日は町内会長はじめ他4名の役員の方から参加をいただいた。精力的に作業に取り組んでおり、利用者と声を掛け合ったり触れ合いの場面が多く見られた。		
決算額・内訳	予算額 101,942円	収入 101,942円	事務費雑支出より
		支出 64,940円 7,860円 6,272円 22,870円	スタッフジャンパー ほうき代 飲み物代 お菓子代
		差引 0円	
事業担当職員	支援課 係長 佐藤誠		
事業の評価とまとめ	新型コロナウイルス感染症予防のため、屋内で人がたくさん集まるような環境下での地域交流のイベントは今後も開催は難しいと思われる。今回開催した屋外でのクリーンアップ活動はソーシャルディスタンスを確保しながら短時間で効率的に行うことができ、かつ地域住民の方も気軽に参加できるのでコロナ禍における事業形態としては理想的ではないか。		

## 地域における公益的な取組

施設名（ 秋田県心身障害者コロニー ）

事業名	ふれあい交流事業				
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 「障がい児・者ふれあい交流事業」 地域で生活する障害のあるかたや引きこもりの方々が余暇時間を有効に活用し、関りを深めながら、地域社会の中で安心して生活できる環境を作れるよう交流事業を推進していく。</p> <p>&lt;対象者&gt; 由利本荘市、にかほ市在住の障がい児・者（ひきこもり含む）、その家族の方々を対象とする。</p> <p>&lt;内容&gt; 毎月1回（第3、第4土曜日のいずれか）に由利本荘・にかほ圏域に在住する障がい者を有する方や引きこもりの方、また、その家族を対象に、外部講師を招いたミュージックセラピーやジャズダンス、施設職員による調理教室やガーデニング教室、ボウリング等の交流会を実施する。 由利本荘市社会福祉協議会、由利本荘市基幹相談支援センター等関係機関と相互協力のもと、参加者への各種相談に応じ日常生活への助言や支援を行う。 年2回（4月、10月）西目町内に地域交流場として開設しているコロニー生産直売所「歩人」をメインに、施設で制作した商品を即売するイベントを開催し、施設利用者と地域住民の交流を図る。</p>				
年間事業内容	月	実施内容	講師	会場	参加人数
	4月	歩人即売イベント開催		歩人	中止
	5月	調理教室(パン作り)	職員(栄養士)		中止
	6月	ガーデニング教室	職員(就B)	コロニーホール	14名
	7月	ボッチャ体験(8/1開催予定)	有		中止
	8月	ミュージックセラピー	有		中止
	9月	調理教室(お菓子作り)	職員(栄養士)	歩人	8名
	10月	歩人即売イベント開催		歩人	来客数 約200名
	11月	コロニーふれあい文化祭作品展示	-	コロニーホール	1名
	12月	手芸教室(リース作り)	-	ハーブワールド	6名
	1月	ミュージックセラピー	有		中止
	2月	ボウリング	-	はまなすファミリーボウル	5名
	3月	ジャズダンス	有	鶴舞会館 講堂	12名
	※原則として第3か第4土曜日の開催とする。連休は避ける				延べ46名

<b>関係機関や団体等との連携状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 由利本荘市社会福祉協議会 情報提供及びひきこもり協力員の派遣依頼</li> <li>○ 由利本荘市基幹相談支援センター 情報提供及び相談員派遣依頼</li> <li>○ 就業・生活支援センター 情報提供及び相談員派遣依頼</li> <li>○ 由利本荘市、にかほ市 情報提供 (広報誌掲載依頼)</li> </ul>																						
<b>決算額・内訳</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ ガーデニング教室材料費</td> <td style="text-align: right;">17,935</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 調理実習材料費</td> <td style="text-align: right;">8,800</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 手芸教室材料費</td> <td style="text-align: right;">6,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ ボウリング利用料</td> <td style="text-align: right;">7,600</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 切手代</td> <td style="text-align: right;">6,384</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 障害保険料</td> <td style="text-align: right;">4,600</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 講師謝礼</td> <td style="text-align: right;">9,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 講師アシスタント謝礼</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 駐車場賃借料</td> <td style="text-align: right;">5,500</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ 飲料代</td> <td style="text-align: right;">7,100</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 80px; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">77,919</td> </tr> </table>	・ ガーデニング教室材料費	17,935	・ 調理実習材料費	8,800	・ 手芸教室材料費	6,000	・ ボウリング利用料	7,600	・ 切手代	6,384	・ 障害保険料	4,600	・ 講師謝礼	9,000	・ 講師アシスタント謝礼	5,000	・ 駐車場賃借料	5,500	・ 飲料代	7,100	計	77,919
・ ガーデニング教室材料費	17,935																						
・ 調理実習材料費	8,800																						
・ 手芸教室材料費	6,000																						
・ ボウリング利用料	7,600																						
・ 切手代	6,384																						
・ 障害保険料	4,600																						
・ 講師謝礼	9,000																						
・ 講師アシスタント謝礼	5,000																						
・ 駐車場賃借料	5,500																						
・ 飲料代	7,100																						
計	77,919																						
<b>事業担当職員</b>	<p>地域貢献活動委員          委員長 小野崎和司管理者          副委員長 森井勝部長          委員 柴田省吾課長 菅原亘主査 野口幸恵主任 富樫紘支援員                佐藤明宏主査 加藤貴裕支援員 佐藤みどり支援員 菊池昇博支援員                佐藤綾香支援員 池内健一主査 佐藤奈桜子支援員 佐藤誠子支援員          アドバイザー 大塚聡課長</p>																						
<b>事業の評価とまとめ</b>	<p>地域で生活する障害のある方を対象とし、毎月1回、定期的開催する計画を策定したが、コロナ禍により5つの教室・イベントが中止となった。また、感染対策として主に当法人施設職員が担当し事業を実施した。</p> <p>各種教室等のイベント開催の案内についても、市の広報紙への案内掲示依頼等の募集を行わず、過去の参加者に対する郵送案内と基幹相談支援センターへのポスター掲示に留めている。</p> <p>多数の地域住民や地域障害者の参加が見込めるコロニー就労支援B型事業と連携した生産物即売会については年2回の実施を予定していたが、春の部(5月予定)は中止となった。秋の部として10月3日にコロニー生産直売所歩人にて即売イベントを開催した。近隣店舗より無断駐車についての注意があり、次回開催に向け駐車場の案内掲示方法や誘導員の増員等の検討課題が残った。</p>																						

## 地域における公益的な取組

施設名（ 秋田県心身障害者コロニー ）

事業名	職場体験学習受入れ事業
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感してもらえ、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲など培う教育活動の場を提供。</p> <p>中学校訪問 鳥海中学校の生徒を対象に、障がいや福祉への関心・理解を深めることを目的に出前講座を実施する。中学生という多感な時期に、障がいについての正しい理解や興味を持ってもらうことで、思いやりのや共に支え合う気持ちを育む。職業意識が芽生える大事な時期でもあり、将来の福祉人材の確保にも繋げていく。</p> <p>&lt;対象者&gt; 由利本荘市、にかほ市の中学生・高校生 県立大学・看護学校・秋田大学・公立美術大学等の学生</p> <p>鳥海中学校</p> <p>&lt;内容&gt; 由利本荘市及びにかほ市の中・高校生を対象に職場体験学習の機会を提供し、介護等の体験や施設利用者とのふれあうことで、その体験を通して障がい者の理解と関心の増進を図る。</p> <p>出前講座の内容については、中学校の授業の一環である「総合学習」等の一コマで、「障がいや福祉」「福祉施設の仕事」について、講義やグループワークを通して障がいや福祉の理解と関心の増進を図る。</p>
年間事業内容	コロナ禍により中止
事業担当職員	<p>地域貢献活動委員 委員長 小野崎和司管理者 副委員長 森井勝部長 委員 柴田省吾課長 菅原亘主査 野口幸恵主任 富樫紘支援員 佐藤明宏主査 加藤貴裕支援員 佐藤みどり支援員 菊池昇博支援員 佐藤綾香支援員 池内健一主査 佐藤奈桜子支援員 佐藤誠子支援員 アドバイザー 大塚聡課長</p>
事業の評価とまとめ	地域の対象校17校（中学、高校、専門校、大学）には中止の旨の文書を管理者名で4/23日付で発送した。

## 地域における公益的な取組

施設名（ 由利本荘地域生活支援センター ）

<b>事業名</b>	発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童への支援方法についての研修会
<b>事業概要</b>	<p>&lt;目的&gt; 発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童等に対する支援方法について理解を深める。</p> <p>&lt;対象者&gt; 発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童の家族や保育士、幼稚園教諭等</p> <p>&lt;内容&gt; 講師による講演とグループワーク</p>
<b>年間事業内容</b>	コロナ禍により、9月頃実施できなかった。
<b>関係機関や団体等との連携状況</b>	コロナ禍により、ゆり支援学校教育専門監の講師依頼を断念した。由利本荘市で開催している虹っこ広場（発達障がい児集団保育）利用家族等参加を促す予定としていた。
<b>決算額・内訳</b>	地域生活支援センターを会場とし30名程度の参加を予定していた。 2万円(資料等)
<b>事業担当職員</b>	野荒係長
<b>事業の評価とまとめ</b>	新型コロナウイルス蔓延の懸念があったため、参加者の安全を考え、発達障害のある児童等に対する支援方法についての講演会を中止とした。令和3年度も発達障害のある児童の家族や保育士、幼稚園教諭等を対象に、同テーマで特にペアレントトレーニングについての講演とグループワークを予定している。

## 地域における公益的な取組

施設名（ 阿桜園 ）

事業名	地域生活交流活動事業															
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 地域での余暇活動の支援が必要な障害児者等を対象に日中活動の機会を提供し、生活の質及び社会生活力の向上を図る。また、新規事業として中学生を対象とした福祉セミナー（出前講座）を開催することで、福祉全般に関する理解を深め、福祉人材の底辺拡大に努める。</p> <p>&lt;対象者&gt; ○余暇活動支援 地域の余暇活動への支援が必要な障害児者、ひきこもり状態にある方等 ○福祉セミナー（出前講座） 横手市内の中学生</p> <p>&lt;内容&gt; ・阿桜園の陶芸室及び付属設備を提供するとともに講師を依頼して作品の制作活動を行う。 ・調理体験及び交流会を行う。 ・公共交通機関を利用した外出を行い余暇の充実と社会生活力向上を図る。 ・阿桜園の体育館にて講師を依頼し運動の機会を提供する。 ・職員を中学校へ講師として派遣し講座を開催する。また、当施設を活用し中学校の長期休業期間を利用したボランティアや職業体験の受け入れを行う。</p>															
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年7月12日「陶芸教室」、参加5名</li> <li>・令和2年9月27日「陶芸教室」（感染症拡大防止のため「健康体操」から「陶芸教室」へ変更して開催）7名参加</li> <li>・令和2年11月30日「陶芸教室」、感染症拡大防止のため「調理教室」から「陶芸教室」へ変更して開催、参加5名</li> <li>・令和2年12月20日「陶芸教室」、参加5名</li> <li>・令和3年2月28日「陶芸教室」、参加6名</li> </ul> <p>※年度末に参加者へのアンケートを実施。 ※令和2年4月～6月の活動は感染症拡大防止のため中止とした。</p>															
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇活動支援についてのパンフレットを作成し、関係機関、事業所への配布を行った。</li> <li>・現在利用中の方への情報提供を継続するとともに、安全に実施するために参加者が利用している事業所等との連携を図った。</li> <li>・相談支援事業所を利用している方（外部との交流が少ない方）に情報提供を行い、参加を促した。</li> </ul>															
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・講師謝礼</td> <td style="width: 40%;">10,000円×5回=50,000円（陶芸）</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>・送迎車運転者賃金</td> <td>1,125円×15時間=16,875円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・傷害保険料</td> <td>8,350円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・各材料費</td> <td>10,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">85,225円</td> </tr> </table>	・講師謝礼	10,000円×5回=50,000円（陶芸）		・送迎車運転者賃金	1,125円×15時間=16,875円		・傷害保険料	8,350円		・各材料費	10,000円			合 計	85,225円
・講師謝礼	10,000円×5回=50,000円（陶芸）															
・送迎車運転者賃金	1,125円×15時間=16,875円															
・傷害保険料	8,350円															
・各材料費	10,000円															
	合 計	85,225円														
事業担当職員	<p>&lt;支援担当&gt; 支援係長 伊藤真 &lt;事務担当&gt; 主査 藤原雅典</p>															
事業の評価とまとめ	<p>今年度はコロナ禍の影響から、新たに計画していた福祉セミナーが実施できず陶芸教室を5回開催したのみであった。しかし、参加者の方々は活動を心待ちにしている様子で、活動時も楽しんでいただくことができた。今後は活動内容や場所について検討し、コロナ禍の中でもより楽しんでいただける活動を提供できるようにしたい。また、福祉セミナーについても、内容や実施の方法等を工夫し開催することで、阿桜園や福祉への理解を深めてもらえるようにしたい。</p>															

## 地域における公益的な取組

施設名（ やまばと園 ）

事業名	交流サロン ホップ！												
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 就労や通所事業所等に行けず、家族以外の人との交流がほとんどない方々に対して自宅以外で安心して過ごせる場所を提供する。</p> <p>&lt;対象者&gt; 家族以外の人との交流がほとんどなく、自宅にいることが多い方</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：毎月第2木曜日を基本とする。 ただし、対応職員の状況により変更あり</li> <li>・開催時間：14:00～16:00</li> <li>・場 所：湯沢雄勝広域交流センター 他 ※基本は上記の場所とするがセンターの予約が取れない場合は湯沢市生涯学習センター等調整。また、活動内容によって場所変更あり。</li> <li>・事業範囲：湯沢雄勝地域</li> <li>・送 迎：可能な範囲で実施</li> </ul>												
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年11月19日～料理教室（参加者5名）</li> <li>・令和2年12月15日～フラワー教室（参加者4名）</li> </ul>												
関係機関や団体等との連携状況	湯沢市社会福祉協議会及び湯沢雄勝圏域内の相談支援事業所（10ヵ所）、湯沢市基幹相談支援センターにチラシを配布。その他、稲川地区民生児童委員協議会定例会にて開催について周知。												
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">創作活動費(アレンジフラワー代)</td> <td style="text-align: right;">19,800円</td> </tr> <tr> <td>保険料(傷害)</td> <td style="text-align: right;">5,000円</td> </tr> <tr> <td>賃借料 (会場使用料2回 850円、レンタカー1回 14,874円)</td> <td style="text-align: right;">15,724円</td> </tr> <tr> <td>会議費(茶菓子代等)</td> <td style="text-align: right;">1,610円</td> </tr> <tr> <td>雑支出(講師謝礼) 1回 20,000円</td> <td style="text-align: right;">20,000円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">62,134円</td> </tr> </table>	創作活動費(アレンジフラワー代)	19,800円	保険料(傷害)	5,000円	賃借料 (会場使用料2回 850円、レンタカー1回 14,874円)	15,724円	会議費(茶菓子代等)	1,610円	雑支出(講師謝礼) 1回 20,000円	20,000円	合 計	62,134円
創作活動費(アレンジフラワー代)	19,800円												
保険料(傷害)	5,000円												
賃借料 (会場使用料2回 850円、レンタカー1回 14,874円)	15,724円												
会議費(茶菓子代等)	1,610円												
雑支出(講師謝礼) 1回 20,000円	20,000円												
合 計	62,134円												
事業担当職員	鈴屋 課長 壽松木 郁 鈴木 宏郎 高岡 英一 阿部 和広 佐藤 正英 大山江利子 高橋 未来 佐藤 隆一 東 和明 戸田 剛志												
事業の評価とまとめ	当初は年10回の開催予定であったが、新型コロナウイルスの流行に伴い令和2年度は2回の開催であった。開催できない期間にはこれまでの参加者や地域の相談支援事業所から開催についての問い合わせがあり、当事業は福祉サービスとの繋がりが無い方々にとってのきっかけ作りの一つ(社会資源)として捉えられていた。その一方で当事業を開催するようになり6年が経過したが、参加者の傾向を見ると余暇活動を求めて参加する方も増えてきている側面もみられた(今年度実参加者5名。昨年からの継続参加4名。新規1名。5名のうちサービスとの繋がりが無い方は1名のみ)。												

## 地域における公益的な取組

施設名（ 障害者支援センター御所野 ）

事業名	特殊浴体験
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 地域で生活している方で、自宅での入浴が困難な方や自力での入浴が困難な方に安心して入浴できる場を提供し、特殊浴の体験をしてもらう。</p> <p>&lt;対象者&gt; 障害児・者、高齢者、他体験希望者。</p> <p>&lt;内容&gt;  <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回(春、夏、秋、冬)ミスト浴の体験とする。</li> <li>・時間を10:00～16:00までとし、一日5名を限度とする。</li> <li>・体験希望者の送迎は家族とする。</li> <li>・体験前に直近2週間の行動歴を確認し、体調確認を行う。</li> <li>・機械操作と見守りの為職員2名を配置するが、基本は家族の方が洗身する。</li> <li>・入浴後に簡単なアンケートに応じてもらう。</li> </ul> </p>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催前にホームページや広報に掲載し情報を提供する。</li> <li>・申込用紙(簡単なADLチェック用)とアンケート用紙を作成(入浴後記入)する。</li> <li>・実施2週間前に締め切り名簿を作成する。</li> <li>・当日対応する職員が希望者のADL状況等を確認する。</li> <li>・活動後に委員会を開催し、改善すべき事等をあげ次回に繋げる。</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田市社会福祉協議会、相談支援事業所、近隣包括支援センター、放課後等デイサービス、支援学校等に情報を提供する。</li> <li>・必要時協議する。</li> </ul>
決算額・内訳	未実施の為 0円
事業担当職員	所長、支援課長、高瀬主任、堀主任
事業の評価とまとめ	<p>令和2年度はコロナ禍という状況もあり実施に至らなかった。 令和3年度は、県の感染警戒レベル「3」に引き上げられた場合を除き、工夫しながら取り組みを具体的に進めたい。</p>

## 地域における公益的な取組

施設名（ 秋田県点字図書館 ）

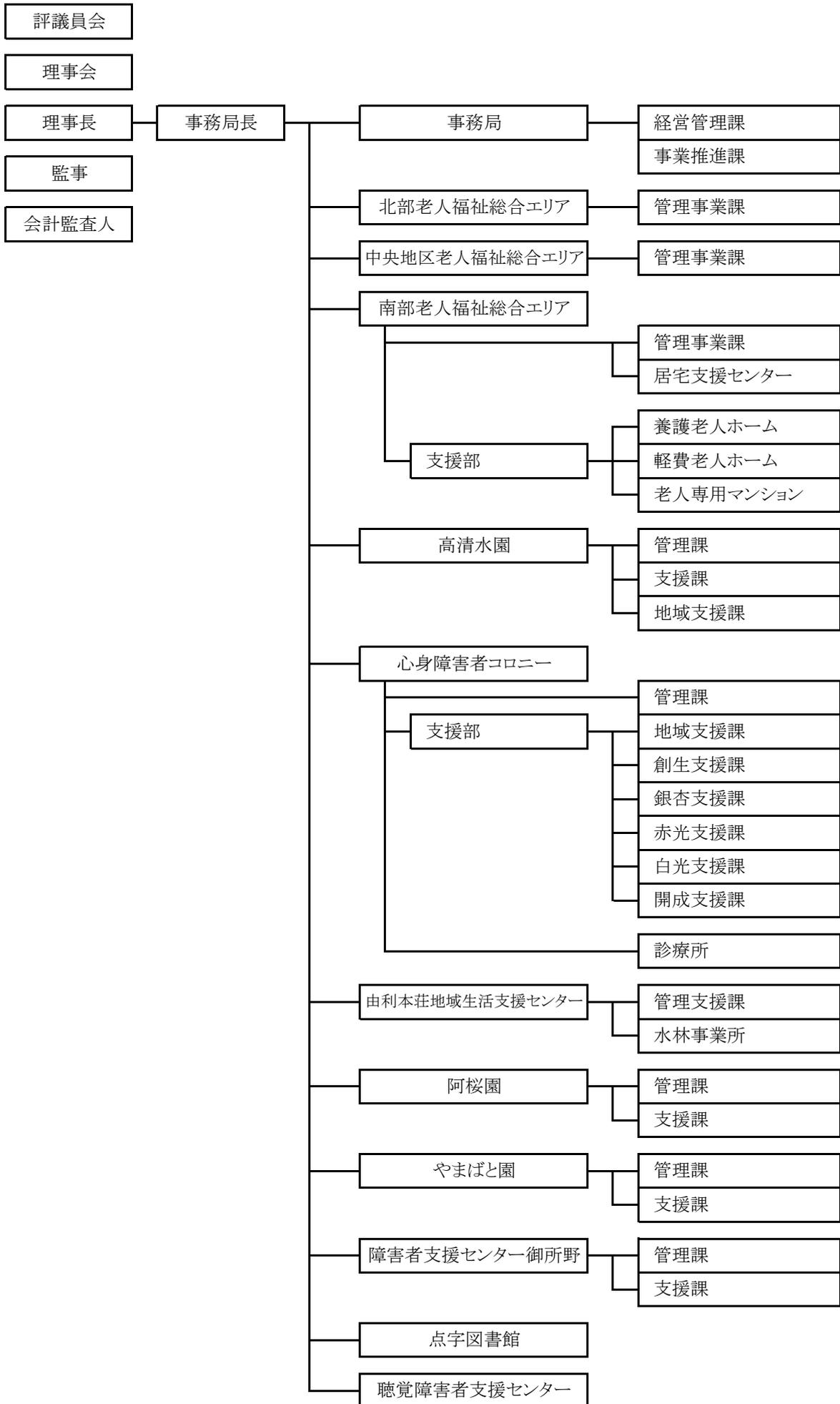
事業名	プチッと点字体験
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」、「秋田県障害者差別解消条例」に鑑み、点字を知る晴眼者を増やし、視覚障がい者とのコミュニケーションや支援することができる県民を増やすことを目的に当館で可能な活動を実施</p> <p>&lt;対象者&gt; 県民全般</p> <p>&lt;内容&gt; ◎点字の学習と体験 ①点字五十音表を用いて点字の構成を学習 ②簡易点字器（凸面点字器）を使用し、点字テープに氏名、住所等を打ってボールペンやクリアファイルに貼る ③日常生活や身の回りで点字が表示されている物を知る。</p>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み点字図書館探検 8月6日 小学生8名 大人6名 8月7日 小学生18名 大人11名 8月8日 小学生6名 大人6名</li> <li>・点字体験学習受入 10月23・27日 土崎南小学校4年 計47名</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県障害福祉課</li> <li>・秋田県視覚障害者福祉協会</li> <li>・秋田県障害者社会参加推進センター</li> <li>・県内各市町村</li> <li>・法人内事業所等</li> </ul>
決算額・内訳	【支出】0円
事業担当職員	主査 岩田 陽子
事業の評価とまとめ	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら、館内では「夏休み点字図書館体験」「小学校の点字体験学習」を開催した。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験型のイベントである「プチッと点字体験」の館外での開催はすべて見合わせた。</p>

# 【 資 料 】



# 1. 組織

令和3年3月31日現在



## 2. 施設の概要

令和3年3月31日現在

種別	施設名	所在地	主なサービス	定員	備考	
老人福祉総合エリア	秋田県北部老人福祉総合エリア	大館市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県南部老人福祉総合エリア	横手市	コミュニティーセンター			指定管理
			養護老人ホーム	50		
			軽費老人ホーム（特定含）	50		
			老人専用マンション	24	指定管理	
			居宅支援センター			
生きがい創作館		指定管理				
障害児者支援施設	高清水園	秋田市	施設入所支援事業	88		
			生活介護事業	92		
			放課後等デイサービス	10		
			グループホーム（5カ所）	30		
	秋田県心身障害者コロニー	由利本荘市	施設入所事業	360		
			生活介護事業	400		
			就労継続支援事業B型	60		
			グループホーム（9カ所）	45		
			診療所			
	由利本荘地域生活支援センター	由利本荘市	生活介護事業	30		
			児童発達支援事業	10		
			放課後等デイサービス			
			放課後等デイサービス	10		
			就労継続支援事業B型	20		
			グループホーム（13カ所）	68		
	阿桜園	横手市	施設入所支援事業	110		
			生活介護事業	120		
			福祉型障害児入所施設	5		
			児童発達支援事業	5		
			放課後等デイサービス（重心）			
放課後等デイサービス			10			
グループホーム（2カ所）			10			
湯沢雄勝広域市町村圏組合やまばと園		湯沢市	施設入所支援事業	60	指定管理	
			生活介護事業	50		
			就労継続支援事業B型	10		
	放課後等デイサービス		10			
	グループホーム（1カ所）		5			
障害者支援センター御所野	秋田市	施設入所支援事業	40			
		生活介護事業	40			
視聴覚障害者情報提供施設	秋田県点字図書館	秋田市	視覚障がい者への情報提供		指定管理	
	秋田県聴覚障害者支援センター	秋田市	聴覚障がい者への情報提供		県受託	

### 3. 施設のサービス利用状況

利用者は各年度3月31日現在の契約者数 件数は年間の延べ件数

#### 障害者

##### 1 介護給付

施設名	施設入所				生活介護				短期入所			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園	88	88	85	83	92	92	94	92	8	8	40	40
心身障害者コロニー	360	360	339	330	400	400	326	314	5	5	10	6
由利本荘支援センター	—	—	—	—	30	30	39	38	—	—	—	—
阿桜園	110	110	106	98	120	120	124	104	4	4	6	1
やまばと園	60	60	59	59	50	50	69	65	8	8	15	3
支援センター御所野	40	40	36	39	40	40	38	40	2	2	21	22
合計	658	658	625	609	732	732	690	653	27	27	92	72

##### 2 就労継続支援

施設名	就労継続支援B型			
	定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2
心身障害者コロニー	70	70	59	54
由利本荘支援センター	20	20	15	13
やまばと園	10	10	10	11

##### 3 地域生活支援

施設名	日中一時支援				日中一時支援（放課後型）				障害児等療育支援			
	定員		利用件数		定員		利用件数		定員		利用件数	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園	8	8	86	54	10	10	111	0	—	—	—	—
心身障害者コロニー	5	5	161	65	—	—	—	—	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	22
阿桜園	4	4	293	197	—	—	—	—	16	16	371	414
やまばと園	8	8	334	30	—	—	—	—	12	12	293	173
支援センター御所野	2	2	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—

##### 4 相談支援

施設名	相談件数	
	R元	R2
高清水園	945	820
由利本荘支援センター	1,571	1,713
阿桜園	437	488
やまばと園	353	401

5 居住支援（共同生活援助）

施設名	ホーム名	グループホーム				サテライト型利用			
		定員		利用者		定員		利用者	
		R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園 5カ所	結	5	5	5	5	1	1	1	1
	みのり	5	5	5	5	1	1	1	1
	さくら	5	5	5	5	1	1	1	1
	あおぞら	5	5	5	5	1	2	1	2
	こまち	6	4	5	4	—	1	—	1
心身障害者コロニー 9カ所	わかまつ	6	6	5	6	—	0	—	0
	やすらぎ	6	6	6	6	—	0	—	0
	そよかぜ	4	4	4	4	—	0	—	0
	はまなす	6	4	4	4	—	0	—	0
	まつかぜ	5	6	6	6	—	0	—	0
	しおさい	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこA	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこB	4	4	4	4	—	0	—	0
	かもめ	5	5	5	5	—	0	—	0
由利本荘支援センター 13カ所	翼	4	4	4	0	—	0	—	0
	御門A	5	5	5	5	—	0	—	0
	御門B	5	6	5	6	—	1	—	1
	清和A	5	5	5	4	—	0	—	0
	清和B	6	5	6	5	—	0	—	0
	朋A	5	5	4	5	—	0	—	0
	朋B	5	5	5	5	—	0	—	0
	めぐみ	6	6	6	6	—	0	—	0
	菖蒲	6	6	6	6	—	0	—	0
	若菜	6	6	6	5	—	1	—	1
	三愛A	5	5	5	0	—	1	—	0
	三愛B	5	5	5	5	—	0	—	0
	虹	5	5	5	5	—	0	—	0
阿桜園	希望	10	10	8	9	—	0	—	0
やまばと園	ぱってりー	5	5	4	4	—	0	—	0
合計	30カ所	155	154	148	139	4	8	4	8

障害児

施設名	施設入所支援				放課後等デイサービス・児童発達支援				重症心身放課後等デイサービス等			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園	—	—	—	—	10	10	21	23	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	20	20	52	59	—	—	—	—
阿桜園	5	5	5	5	10	10	17	16	5	5	6	3
やまばと園	—	—	—	—	10	10	22	25	—	—	—	—

高齢者

施設名	養護老人ホーム				軽費老人ホーム				老人専用マンション			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
南部老人福祉エリア	50	50	45	49	50	50	46	47	24	24	7	3

## 4. 役員等

令和3年3月31日現在

### (1) 評議員

氏名	役職名
遠藤博之	地方独立行政法人 秋田県立療育機構理事長
伊藤英紀	社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長
高橋精一	前公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会会長
高島幹子	前公益社団法人 秋田県看護協会会長
柴田博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
和田士郎	一般社団法人 秋田県社会福祉士会会長
尾留川等	社会福祉法人 つるまい福祉会 理事
秋山尚子	社会福祉法人 秋田けやき会 ケアハウスウエルハウス御所野施設長
神谷長一	阿桜園保護者会会長

任期 平成29年6月15日 ~ 令和3年6月定時評議員会

### (2) 理事

氏名	役職名
佐々木司	前秋田県観光文化スポーツ部長
柴田一宏	柴田一宏法律事務所長
太田春海	秋田県民生児童委員協議会会長
高橋美岐子	日本赤十字秋田短期大学特任教授
佐藤寿美	秋田県社会福祉協議会常務理事
古田俊之	秋田県社会福祉事業団事務局長
加藤敦	秋田県南部老人福祉総合エリア管理者
小野崎和司	秋田県心身障害者コロニー管理者

任期 令和元年6月26日 ~ 令和3年6月定時評議員会

### (3) 監事

氏名	役職名
田中政博	元秋田市財務部長
戸嶋正	元秋田県阿桜園長

任期 令和元年6月26日 ~ 令和3年6月定時評議員会

### (4) 会計監査人

法人名	所在地
公認会計士河野隆治事務所	秋田市泉中央1丁目2番15号

任期 令和2年6月26日 ~ 令和3年6月定時評議員会

## 5. 会議等

### (1) 評議員会

開催年月日	出席者数		決議事項
	評議員	理事	
令和2年6月26日	6	1	1 令和元年度事業報告及び決算 2 理事の選任 3 会計監査人の選任 4 役員等報酬規則の一部改正

### (2) 理事会

開催年月日	出席者数		決議事項
	理事	監事	
令和2年6月1日	7	2	1 新型コロナウイルスの感染防止に向けた対応 2 令和元年度事業報告及び決算 3 評議員候補者の推薦 4 理事の選任 5 会計監査人の選任及び報酬 6 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正 7 評議員選任・解任委員会委員の選任 8 職員給与規則等の一部改正 9 役員等報酬規則の一部改正 10 基本財産の増加 11 定時評議員会の開催 12 地域交流費等の執行状況
令和2年6月26日	8	2	1 理事長の選定
令和2年9月14日	8	2	1 指定管理者公募への対応 2 新型コロナウイルス感染症への対応 3 職員採用試験の状況 4 職員の処分状況 5 評議員選任・解任委員会議事録
令和2年10月30日	7	2	1 令和2年度第1次補正予算 2 職員採用試験の状況 3 渉外費・研修研究費の支出状況
令和3年3月18日	8	2	1 組織規則の一部改正 2 職員就業規則の一部改正 3 職員給与規則の一部改正 4 継続職員就業規則の一部改正 5 有期契約職員就業規則の一部改正 6 無期契約職員就業規則の一部改正 7 会計規則の一部改正 8 令和2年度第2次補正予算 9 令和3年度事業計画 10 令和3年度当初予算 11 5ヵ年経営計画 12 施設長等の任命 13 役員賠償責任保険への加入 14 令和3年度職員採用計画 15 職員採用試験の状況

## (3) 評議員選任・解任委員会

開催年月日	出席者数		決議事項
	委員	理事	
令和2年6月26日	3	2	1 評議員の選任

## (4) 施設長会議

開催年月日	内容
令和2年5月22日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>2 新たな経営計画の策定</li> <li>3 経営改善チームの検討状況</li> <li>4 高清水園の経済的虐待疑い</li> <li>5 老人福祉総合エリアの指定管理</li> <li>6 職員提案制度の改正</li> <li>7 理事会(6月1日開催)の議案</li> </ol>
令和2年9月8日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定管理者公募への対応</li> <li>2 新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>3 次期経営計画の検討</li> <li>4 令和2年度職員採用試験の実施状況</li> <li>5 職員の処分状況</li> <li>6 職員提案制度の改正</li> <li>7 理事会(9月14日開催)の議案</li> </ol>
令和2年10月21日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度第1回補正予算編成</li> <li>2 5ヵ年経営計画</li> <li>3 新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>4 令和2年度職員採用試験の実施状況</li> <li>5 渉外費・研修研究費の支出状況</li> <li>6 有給休暇取得状況</li> <li>7 理事会(10月30日開催)の議案</li> </ol>
令和2年11月25日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経営改善チームの報告に対する今後の対応</li> <li>2 懲戒処分の給与への反映</li> <li>3 継続雇用職員及び契約職員の定年</li> </ol>
令和2年12月22日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 懲戒処分の給与への反映</li> <li>2 継続雇用職員及び契約職員の定年</li> <li>3 契約職員の能力を生かした施設運営</li> <li>4 経営改善チームの報告に対する今後の対応</li> <li>5 職員の採用状況</li> </ol>
令和3年2月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 5ヵ年経営計画(案)</li> <li>2 規則等の改正</li> <li>3 支援アドバイザー</li> <li>4 職員研修規程の改正等</li> <li>5 新型コロナウイルス感染症対策</li> </ol>
令和3年3月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 5ヵ年経営計画(案)</li> <li>2 令和3年度事業計画・当初予算</li> <li>3 令和2年度第2次補正予算</li> <li>4 組織規則及び就業規則取扱要綱等の改正</li> <li>5 希望降格制度実施要綱</li> <li>6 新型コロナウイルスワクチン接種</li> <li>7 令和3年度職員採用計画</li> <li>8 役員賠償責任保険</li> <li>9 理事会(3月18日開催)議案</li> <li>10 一般事業主行動計画</li> <li>11 各施設等における安全確認の徹底</li> </ol>

## (5) 経営会議

開催年月日	内 容
令和2年11月25日	経営会議の下に設置した給与改革チーム、人材育成チーム、事業展開チーム、業務改善チームにより、今後の経営改善について検討を行った。検討段階においては、チーム別部会に施設長が参画し、取りまとめの上、経営会議に報告した。

## (6) 監事の監査

開催年月日	内 容
令和2年5月29日	令和元年度事業報告及び決算

## (7) 会計監査人の監査

開催年月日	実施箇所	内 容
令和2年5月29日	事 務 局	令和元年度事業報告及び決算
令和2年11月10日 ～11月13日	各 施 設	各施設(会計拠点区分)の期末監査
令和3年1月19日 ～1月20日		各施設(会計拠点区分)の期中監査
令和3年3月17日	事 務 局	事務局の期中監査

## 6. 職員

### 1. 職員の配置状況

令和3年3月31日現在

区 分	正 職 員 ( 広 域 職 員)	正 職 員 ( 地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
事 務 局	11	0	0	0	1	12
北 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	6	0	0	5	4	15
中 央 地 区 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	6	0	0	4	8	18
南 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	22	0	2	28	27	79
高 清 水 園	36	1	1	17	33	88
心 身 障 害 者 コ ロ ニ ー	116	1	10	84	56	267
由 利 本 荘 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー	13	1	7	9	45	75
阿 桜 園	42	2	3	30	36	113
や ま ば と 園	22	0	0	17	20	59
障 害 者 支 援 セ ン タ ー 御 所 野	19	1	0	3	3	26
点 字 図 書 館	1	0	1	3	3	8
聴 覚 障 害 者 支 援 セ ン タ ー	1	1	1	1	1	5
計	295	7	25	201	237	765

区 分	正 職 員 ( 広 域 職 員)	正 職 員 ( 地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
施 設 長 等	13	0	2	0	0	15
課 長	19	0	0	0	0	19
事 務 員	33	1	1	24	18	77
支 援 員	181	6	20	126	139	472
保 健 師 ・ 看 護 師	20	0	0	2	5	27
栄 養 士	7	0	0	0	3	10
理 学 療 法 士	1	0	0	0	0	1
技 師	21	0	2	15	25	63
世 話 人	0	0	0	20	15	35
宿 直 専 門 員	0	0	0	11	21	32
そ の 他	0	0	0	3	11	14
計	295	7	25	201	237	765

### 2. 職員数の推移

令和3年3月31日現在

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
正 職 員	289	287	297	302	298	302
継 続 雇 用 職 員	7	13	16	16	21	25
無 期 契 約 職 員	—	—	—	—	180	201
有 期 契 約 職 員	450	456	449	437	261	237
計	746	756	762	755	760	765

3. 正職員の採用実績等

令和3年3月31日現在

職種	採用区分	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	
福祉職	大学卒	広域職	3	8	2	6	4
		地域職					0
	短大卒	広域職	2	1	2	2	1
		地域職					0
	高校卒	広域職	1	3	4	0	2
		地域職					2
	職務経歴	広域職	4	11	5	6	2
		地域職					5
福祉職 計		10	23	13	14	16	
看護職	年度当初	1	0	2	3	1	
栄養士等		1	0	0	0	0	
技能職		0	0	0	0	0	
看護職	年度中途	1	0	0	1	0	
栄養士等		0	1	0	0	0	
技能職		0	0	1	0	0	
専門職 計		3	1	3	4	1	
最近の採用実績 計		13	24	16	18	17	

職種	離職区分	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
福祉職	定年退職	10	4	13	6	5
看護職		0	1	2	0	1
栄養士等		0	0	0	0	0
技師		0	0	0	3	4
定年退職 計		10	5	15	9	10
福祉職	早期退職 (年度末)	2	3	4	2	4
看護職		0	0	0	0	0
栄養士等		0	0	0	0	1
技能職		0	0	1	0	1
福祉職	早期退職 (年度中途)	3	2	1	2	2
看護職		0	0	0	0	0
栄養士等		1	0	0	0	0
技能職		0	0	2	0	0
早期退職 計		6	5	8	4	8
最近の離職者数 計		16	10	23	13	18

職種	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
福祉職	238	247	252	248	254
看護職	16	16	17	19	20
栄養士等	7	8	8	7	7
技能職	26	26	25	24	21
職員数 計	287	297	302	298	302

※栄養士等 栄養士、理学療法士、作業療法士

## 7. 研修の実施状況

### 事務局

#### 1 法人研修

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月27～28日	新任職員研修	秋田大学講師 他	I	18人
6月16日	管理・監督職員研修（ハラスメント防止）	社会保険労務士 中村浩三氏	III、IV	22人
8月6日	新任等職員研修	医療法人惇慧会外旭川病院 寺永守男氏	I、II	21人
10月20日、27日	中堅職員研修（特定処遇改善加算対象）	法人職員	II	74人
11月18日	チームリーダー職員研修（虐待防止）	北摂杉の子会 平野貴久氏	II、III、IV	31人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月7日	サビ管・児発管連絡会	法人職員		20人
8月7日	相談支援連絡会	特定医療法人仁政会杉山病院 佐藤光幸氏		16人
10月16日	強度行動障害支援者養成フォローアップ研修	自閉症eサービス 中山清司氏	I～IV	46人
11月30日	支援計画シート作成担当者連絡会	法人職員		17人
12月11日	実践発表会	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	I～IV	49人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月12日	新型コロナウイルス感染症対策研修会	法人職員	III、IV	15人
6月30日	障がい者雇用の体制づくりに関する研修会	ウエルビューいずみ 牧野真悟氏他	III、IV	19人
1月28日	防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学 及川真一氏	I～IV	22人

#### 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
10月13～14日	キャリアパス研修 チームリーダーコース	C&P, etc 尾崎眞三氏	III	1人
11月9～10日	キャリアパス研修 管理職員コース	泉恵造研修企画工房 泉恵造氏	IV	1人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月17～18日	研修担当職員研修	泉恵造研修企画工房 泉恵造氏		1人
10月5～6日	障害者就業生活相談員資格認定講習	秋田大学教育文化学部 前原和明氏他		1人
10月26日	福祉保健施設・事業者等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 高橋利夫氏		1人
10月26日	障害者理解促進研修会	秋田大学教育文化学部 前原和明氏		1人
12月23日	社会福祉法人会計実務者研修会	公認会計士 宮腰元博氏他		1人
1月18日	評価キット研修	生活介護事業所Kai 佐藤宏満氏		1人
2月22日	社会福祉法人会計決算実務者研修会	公認会計士 宮腰元博氏他		1人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月28日	防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学 及川真一氏	I～IV	3人

秋田県北部老人福祉総合エリア

【事業所内研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月10日	新型コロナウイルス感染症研修	東北環境消毒(有)小松氏	II・III・IV	10人

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月2日	新任職員研修	佐々木長人課長	I～IV	2人
10月1日	新任職員研修	佐々木長人課長他	I	2人

〈特別研修〉

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月20日	普通救命講習 I	秋田市消防署員	I～IV	5人

## 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月16日	管理・監督職員研修	中村社会保険労務士事務所 中村浩三氏	II～IV	2人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
12月11日	秋田県社会福祉事業団実践発表会	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏他	I～IV	2人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
11月18日	虐待防止研修	北檜杉の子会 平野貴久氏	II～III	1人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月28日	防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学 及川真一氏	I～IV	2人

## 秋田県南部老人福祉総合エリア

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月10日	新任等職員オリエンテーション	高橋徹課長他	I～IV	10人
随時	新任研修	鈴屋和基部長他	I	6人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月19日	高齢者疑似体験研修	田畑良江主査	I～IV	16人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月23、27日・5月1日	虐待防止研修	鈴屋和基部長	I～IV	65人
6月30日・7月1、28日	スピーチロック研修	鈴屋和基部長	I～IV	47人
7月31日・8月3、7日	虐待防止研修	嶋田友紀支援員他	I～IV	27人
9月9、10、14日	虐待防止研修	佐藤颯支援員他	I～IV	35人
10月15、19、21、22日	虐待防止研修	嶋田友紀支援員他	I～IV	18人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月21、31日・9月18日	感染症対策研修	小野崎邦子上席看護師他	I～IV	25人
10月13日	救命講習会	横手消防署員	I～IV	9人
10月27日	自家発電機操作方法研修	大友新也技師	I～IV	9人
12月10日	接遇研修（伝達）	鈴木正人係長他	I～IV	16人
2月26日	不審者対応研修	横手警察署員	I～IV	11人
12月9、16、17日	感染症予防研修	松井友江看護師他	I～IV	25人

## 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月27日～28日	新任職員研修	秋田県社会福祉事業団職員	I	2人
6月16日	管理・監督者研修	中村社会保険労務士事務所 中村浩三氏	II～IV	2人
8月6日	新任等職員研修	医療法人惇慧会外旭川病院 寺永守男氏	I	1人
10月29日	中堅職員研修（特定処遇改善加算対象研修）	鈴屋和基部長	II	7人
11月13日	介護施設等看護実務者研修	社会福祉法人一真会 小松祐子氏	I～III	1人
2月17日	居宅介護支援専門員研修会	あたご研究所 後藤佳苗氏	I～III	1人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月22日	大森地区認知症勉強会	やまぼうしネットワーク 紺野敏昭氏	I～IV	4人
9月25日	ケアマネジメント研修会	横手市高齢ふれあい課	I～II	1人
12月11日	秋田県社会福祉事業団実践発表会	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	I～IV	2人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
10月9日	高齢者虐待防止セミナー（施設編）	弁護士 藤原美沙子氏他	Ⅲ～Ⅳ	1人
11月18日	虐待防止研修	北摂杉の子会 平野貴久氏	Ⅱ～Ⅳ	1人
11月5日	高齢者虐待防止セミナー（居宅編）	弁護士 藤原美佐子氏	Ⅱ～Ⅳ	1人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月12日	新型コロナウイルス感染症対策研修会	阿部直子主査	Ⅱ～Ⅳ	2人
6月30日	障がい者雇用の体制づくりに関する研修会	ウェルビューいずみ 牧野真悟氏	Ⅲ～Ⅳ	2人
8月8日	福祉施設向け新型コロナウイルス感染症対策説明会	秋田県医師会 曾根純之氏	Ⅱ～Ⅲ	1人
8月25日	安全運転管理者・副安全運転管理者法定講習会	横手警察署員	Ⅳ	1人
8月26日	カウンセリング研修	秋田産業保健総合支援センター 寺田誠氏	Ⅳ	1人
9月7日	メンタルヘルス研修	㈱インソース 赤澤徳俊氏	Ⅰ～Ⅱ	1人
9月14日	産業保健セミナー	秋田産業保健総合支援センター 佐藤和裕氏	Ⅰ～Ⅳ	1人
10月20日	実践しよう！ストレスチェックを活用した職場環境改善	秋田産業保健総合支援センター 保坂雅和氏	Ⅰ～Ⅳ	1人
10月26日	福祉保健施設・事業者等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 高橋利夫氏	Ⅰ～Ⅱ	1人
10月27日	クレーム対応研修	㈱話し方教育センター 山川亮子氏	Ⅰ～Ⅲ	1人
11月18日	介護記録の理解と実践	西風苑 岩佐慎吾氏	Ⅰ	1人
12月11日	リスクマネジメント研修	びわこ学院大学 鳥野猛氏	Ⅰ～Ⅱ	1人
12月16日	養護・軽費老人ホーム・ケアハウス研修会	聖ヨゼフ・ホーム 平岡毅氏	Ⅰ～Ⅱ	2人
1月28日	防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学 及川真一氏	Ⅰ～Ⅳ	2人

## 高清水園

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

Ⅰ 新任等職員研修・Ⅱ 中堅職員研修・Ⅲ 指導職研修・Ⅳ 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月2～5日	新任・転任職員研修「基本理念・運営方針等」	園長、管理課長、支援課長他	Ⅰ	9人
4月20～23日	中途採用契約新任職員研修「基本理念・運営方針等」		Ⅰ	1人
7月16～21日			Ⅰ	2人
7月30～8月3日			1	1人
9月2～4日			1	2人
11月4～9日			1	3人

## 〈特別研修〉

### 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月23日	てんかんと応急処置の理解	佐々木看護師	I～III	9人
7月9日		佐々木看護師	I～II	9人
8月21日、11月17日、2月16日	被支援体験研修（食事介助）	関谷支援員、本津支援員	I～III	24人
12月14～23日	ASD利用者支援について	木村係長他	I～III	52人
1月20～29日	服薬支援について（ヒヤリハット分析）	木村係長他	I～III	支援課全員

### 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月31日	障害者虐待防止研修「事例による寸劇等」	虐待防止委員会	I～IV	18人
12月23～27日	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修	浮田管理課長他	I～IV	76人
2月20日	障がい特性に応じた支援事例の紹介	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	I～IV	13人

### 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月22日	新型コロナウイルス消毒法・防護服の正しい使用	ダイナミックサニート 金澤良浩氏	I～III	20人
6月4日、9日	預り金取り扱い研修	佐藤係長、木村係長	I～IV	9人
10月20日	救命救急講習会	秋田市消防本部秋田南消防署	I～III	13人
11月19日	感染症対応「ガウンテクニック、汚物処理法」	大場祐子看護師	I～II	10人

## 【事業所外研修】

### 〈特別研修〉

### 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
9月1～2日	県強度行動障害支援者養成研修（基礎）	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	II～III	1人
9月30～10月1日	県強度行動障害支援者養成研修（実践）	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	IV～VI	1人
11月13～3月1日	秋田県相談支援従事者現任研修	合資会社A c - n c t .	III	2人
11月18日	チームリーダー職員研修「虐待防止研修」	北摂杉の子会 平野貴久氏他	II～III	4人
12月7～8日	リーダーシップとコミュニケーション他	東北コミュニケーション研究所 高橋利夫氏	I	2人
10月16日	強度行動障害支援者フォローアップ研修	自閉症eサービス 中山清司氏	I～III	6人
12月17日	児童発達支援責任者情報交換会	秋田市障がい者総合支援協議会 児童部会	I～II	1人
3月11日	コミュニケーション向上研修	(株) インソース	I	1人
3月18日	説明力強化研修	(株) インソース	I～II	2人
1月26日	知的障害者福祉協会専門研修会	小野崎和司管理者	I～III	4人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月6～7日	障害者虐待防止・権利擁護研修	県障害福祉課職員他	IV～VI	2人
3月2日	障害者権利擁護セミナー	全国手をつなぐ育成会 又村あおい氏	I～IV	4人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
3月2日	障害者施設建築対応と事例	京都府ゆう建築設計オンライン	IV～VI	4人

## 秋田県心身障害者コロニー

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月6日	新任職員研修	小野崎和司管理者他	I	22人
5月21日	指導者養成研修	小野崎和司管理者	III	14人
6月23日	障がい福祉に関する制度理解	細井まどか主査	I～III	13人
9月9日	新任職員研修	小野崎和司管理者他	I	7人
9月15日	事故報告書の書き方研修	小野崎和司管理者	II～III	19人
12月2日	成年後見制度研修	大塚聡課長	I～III	11人
2月26日	新任職員研修	小野崎和司管理者	I	6人

### 〈特別研修〉

#### 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月18日	評価アセスメント研修	株OHANA 佐藤宏光氏	I～III	14人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月30日	障害者差別解消法研修	羽川毅郎課長	I～IV	23人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月8日～14日	新型コロナ対策研修	保健師・看護師	I～IV	199人
7月17日	接遇研修	戸嶋里子主査	I～IV	16人
7月15日～16日	新型雄コロナ対策研修	保健師・看護師	I～IV	49人
10月12日	摂食支援に係る研修	伊藤香子管理栄養士	I～III	15人
10月30日	感染症対策研修	阿部直子主査	I～III	12人

## 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月19日・8月20日	サビ管（更新）	秋田県	Ⅲ～Ⅳ	7人
9月1日～2日	強行研（基礎）	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	I	1人
10月19日～20日	キャリアパス（中堅）	秋田県社会福祉協議会	II	1人
10月21日	のぞみの園オンラインセミナー	国立のぞみの園	III	1人
10月21日	工賃向上セミナー	秋田県社会就労センター協議会	I	1人
10月22日～23日	サビ管（基礎）	秋田県社会参加推進センター	III	1人
10月26日	障害者雇用促進研修	秋田県	IV	1人
11月13日	エルダー・メンター研修	秋田県社会福祉協議会	II	1人
11月27日	エルダー・メンター研修	秋田県社会福祉協議会	II	1人
11月27日	東北福祉協会研修	東北福祉協会	IV	1人
12月3日	福祉実践inあきた	秋田県社会福祉協議会	I～IV	2人
12月11日	リスクマネジメント研修	秋田県社会福祉協議会	III	2人
12月7日～8日	課題別研修 I	秋田県社会福祉協議会	III	2人
12月12日～13日	就労支援フォーラム	日本財団	III	1人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月10日～11日	アーク溶接等の業務に係る特別研修	秋田労働局	II	1人
7月22日	たん吸引指導者養成研修	秋田県社会福祉協議会	III	1人
8月19日～20日	特定化学物質	秋田県労働基準協会	II	1人
9月18日	エネルギー管理講習	一般財団法人 省エネルギーセンター	III	1人
9月1日～	たん吸引研修	秋田県社会福祉協議会	I	1人
9月30日～10月1日	強行研(実践)	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	I	1人
9月24日	強行研(フォローアップ)	秋田県社会福祉事業団	I～IV	5人
10月27日～28日	強行研(指導者.基礎)	国立のぞみの園	II	1人
11月29日～30日	強行研(指導者.実践)	国立のぞみの園	II	1人
10月28日	エネルギー管理講習（新規）	一般財団法人 省エネルギーセンター	II	1人
10月28日	危険物取扱(法定講習)	秋田県危険物安全協会連合会	III	1人
11月12日	整備管理者選任後研修	秋田県自家用自動車協会	I	1人
12月17日	たん吸引(手技確認)	秋田県社会福祉協議会	I	1人
12月1日	調理技術研修	秋田県社会福祉協議会	II	1人
12月23日	危険物取扱(法定講習)	秋田県危険物安全協会連合会	II	1人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月13日	産業保健セミナー 職場環境改善	秋田県産業保健総合支援センター 保坂雅和	Ⅲ	1人
7月8日	職場のメンタルヘルス	秋田県産業保健総合支援センター 寺田誠	Ⅳ	1人
12月11日	メンタルヘルス	秋田県産業保健相互支援センター	Ⅲ	2人
12月16日	事業者部会研修～虐待	由利本荘市障がい者基幹相談支援センター	Ⅳ	1人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月6日	新型コロナ対策研修	秋田県医師会	Ⅳ	1人
6月12日	新型コロナ対策研修	阿部直子主査	Ⅳ	1人
6月30日	障がい者雇用体制づくりに関する研修	秋田県社会福祉事業団	Ⅳ	1人
7月22日	障害支援区分認定調査員研修	秋田県	I～Ⅳ	8人
9月16日	食品衛生責任者（有資格者）	由利本荘保健所	I	1人

## 由利本荘地域生活支援センター

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月7日他3回	新任及び転任職員研修	所長他	I	6人
5月26日他2回	OJT(共通事項)	所長	I	6人
4月23日	防災関係（消防計画他）	鈴木防災委員長他	I II III	8人
5月21日	障がい種別に応じた特性	佐藤課長	I II	3人
7月14日他3回	記録の書き方	所長	I II III	28人
11月12日	車椅子リフト他の体験	所長他	I	5人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
10月27・29日	法人外施設体験	NPO法人「逢い」職員	II	1人

## 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月18日他1回	意思決定支援について	和田相談支援専門員	I II	22人
6月4日他2回	虐待防止研修(事例検討)	所長	I II III	72人
12月8日他2回	法人虐待防止研修伝達研修	三浦係長他	I II III IV	67人
1月19日他3回	虐待防止権利擁護伝達研修	三浦水林事業所長他	I II III IV	74人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月2日他2回	てんかんについて	てんかんinfoサイト	I II III	29 人
6月18日他1回	認知症サポーター講座	由利本荘市職員	I II III IV	22 人
9月7日他1回	感染症予防について	加藤看護師	I II	22 人
9月10日	自閉症スペクトラムの理解	鈴木支援アドバイザー	I II III IV	29 人
12月10日	救命講習	由利本荘市消防署員	I II III	7 人
12月10日他1回	強度行動障害支援者研修伝達研修	佐藤支援員	I II III IV	17 人

【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
9月14日	休職者の職場復帰支援	さとう産業医事務所所長	IV	1 人
9月14日	OJTの心得他	話し方教育センター伊丹氏	III	1 人
12月7～8日	指導的職員の資質向上	東北コミュニケーション研究所 高橋氏	III	1 人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月27・29日	就業支援のプロセス他	県障害者職業センター職員他	II	1 人
8月19～20日	サビ管・児発管更新	工藤撰子課長他	II III	3 人
10月3日他	ペアレントトレーニングリーダー養成	みちのく療育園 川村氏他	IV	2 人
10月14日他	相談支援従事者（初任）	地域生活支援センター川音 安藤氏他	II	1 人
10月26日	施設等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 高橋氏	I	1 人
11月13日他	相談支援従事者（現任）	和田相談支援専門員他	III	1 人
11月17日	看護職員研修	秋田厚生医療センター看護師他	I	1 人
1月28～29日	相談援助職員	日赤短大教授 井上氏	III	1 人
2月19日	サビ管スキルアップ研修	工藤撰子課長	I	1 人
3月9・11日	高齢者看護	日赤看護大学院教授 高田氏他	II	1 人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
12月11日	リスクマネジメント	びわこ学院大学教授	III	1 人
12月16日	虐待防止事例検討	由利本荘市職員	I II	3 人

## 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月3日	休職者の職場復帰支援	産業保健相談員 浅沼氏	Ⅳ	1人
8月17～18日	職場研修推進の知識習得	泉恵造研修企画工房 泉氏	Ⅳ	1人
9月7日	施設職員メンタルヘルス	(株)インソース 赤澤氏	Ⅲ	1人
10月16日	職場のメンタルヘルス他	産業保健相談員 阿部氏	Ⅳ	1人
10月27日	クレーム対応	話し方教育センター山川氏	Ⅰ	1人
10月28日	学校と放デイの連携	秋田県・秋田市職員他	Ⅳ	1人
10月30日	再犯防止セミナー	秋田県職員他	Ⅱ	1人
11月4日	支援者向け依存症研修会(基礎)	秋田県職員他	Ⅲ	1人
11月29日	医療的ケア児と災害対策	医療法人稲生会理事長	Ⅲ	3人
12月4日	成年後見人制度について	秋田家庭裁判所書記官他	Ⅲ	1人
12月3日	新型コロナ対応BCP	(株)JIC職員	ⅠⅡ	3人
12月12・18日	知的障害のある犯罪行為者への支援	立命館大学教授他	Ⅱ	1人
1月15日	施設向け感染症対策	秋田県医師会副会長他	ⅠⅡ	5人
1月26日	知的協専門研修(感染症)	コロニー管理者	ⅠⅡⅢⅣ	12人
2月3日	障害者の健康診断	国立のぞみの園医師他	ⅠⅡⅢ	3人
3月2日	ロジカルシンキング研修	(株)インソース 赤澤氏	Ⅱ	1人
3月9日	認知症発症者への支援	社会健康医学研究センター長	ⅠⅡⅢ	8人
3月11日	コミュニケーション向上	(株)インソース 長澤氏	Ⅰ	1人
3月18日	説明力強化	(株)インソース 長澤氏	Ⅰ	1人
3月29日	発達障害者地域支援者研修	ふきのとう秋田 阿部氏他	Ⅲ	1人

## 阿桜園

### 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

Ⅰ 新任等職員研修・Ⅱ 中堅職員研修・Ⅲ 指導職研修・Ⅳ 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月27～28日	新任職員研修	法人職員他	Ⅰ	2人
6月16日	管理・監督職員研修	中村社会保険労務士事務所 中村浩三氏	Ⅲ～Ⅳ	2人
8月6日	新任等職員研修	医療法人樟慧会外旭川病院 寺永守男氏他	Ⅰ	4人
11月18日	虐待防止研修	北摂杉の子会 平野貴久氏他	Ⅲ	5人

### 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月19日	秋田県サービス管理責任者等更新研修	はぐくみ園 志賀信道氏 他	Ⅲ	4人
9月1日～2日	秋田県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	Ⅰ～Ⅲ	1人
9月16日	横手市自立支援協議会障害福祉サービス管理責任者部会(分養・G4関係)	堀田由香課長	Ⅲ	2人

9月30日～10月1日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（実践）	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	I～III	1人
10月14～11月11日他3回	秋田県相談支援従事者初任者研修	竹生寮相談支援事業所 齋藤雅和氏他	I～III	2人
10月16日	強度行動障害支援者フォローアップ研修	自閉症eサービス 中山清司氏他	I～III	3人
11月5日	令和2年度グループホーム世話人等研修会	法人職員	I～III	3人
11月13日～30日他3回	秋田県相談支援従事者現任者研修（e-ラーニング）	法人職員	II～III	2人
12月11日	リスクマネジメント研修	びわこ学院大学教授・鳥野財団代表理事 鳥野猛氏	V	1人
12月11日	実践発表大会	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	II～IV	8人
12月17日	施設給食担当職員研修	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 鈴木美子氏他	I～III	1人
3月1日	相談支援従事者指導者養成研修	基幹相談支援センターふたば 四條拓哉氏	III	1人
3月1日	秋田県相談支援従事者現任研修	相談支援事業所が「いーが」みたあきた 伊藤清貴氏	III	1人

### 意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月17日	第1回虐待防止責任者会議及び感染症対応に関する情報交換会	北摂杉の子会 平野貴久氏	III～IV	2人
6月22日	産業保健セミナー	秋田障害者職業センター 目黒千恵氏	III	1人
9月8日	第2回虐待防止責任者研修	法人職員	III～IV	3人
1月6日～7日	障害者虐待防止・権利擁護研修	県障害福祉課 藤原徹氏他	V	1人
3月2日	障害者の権利擁護セミナー（オンライン）	全国手をつなぐ育成会連合会 又村あおい氏	II～IV	5人

### 一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月12日	新型コロナウイルス感染症対策研修会	法人職員	III～IV	2人
6月30日	障がい者雇用の体制づくりに関する研修会	ウエルビューいずみ 牧野真悟氏他	IV	1人
7月2日	安全運転管理者法定講習会	秋田県公安委員会	IV	1人
7月7日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会	法人職員	II～III	3人
7月22日	障害支援区分認定調査員及び市町村審査委員会研修	県障害福祉課 南野久男氏他	II～III	3人
7月28日	講和：児童の特性と接し方障害観の変化	横手支援学校 菅原咲希子氏	II～III	2人
10月28日	障害者理解促進研修会	県障害福祉課 田口智生氏	III	1人
10月30日	やまばと園 虐待ロールプレイング研修見学	やまばと園職員	II～III	3人
10月30日	精神保健福祉福祉協会横手支部研修会	生活訓練施設やまぶき 佐藤真伸氏	I～IV	3人
11月5日	グループホーム世話人等研修会	御所野地域包括支援センターけやき 阿部公一氏	I～III	3人
11月12日	学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進に向けた研修会	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	III	2人
11月17日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	秋田厚生医療センター看護師他	I～II	1人
11月20日	県南障害福祉施設職員及び保護者合同研修会	小野崎医院 小野崎圭助氏	II～IV	3人
11月30日	支援計画シート等作成担当者連絡会	法人職員	II～III	3人
1月18日	評価キット研修	生活介護事業所Kai 佐藤宏満氏	III	2人
1月26日	知的障害者福祉専門研修会（オンライン）	小野崎和司管理者	IV～VI	5人

1月28日	防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学 及川真一氏	Ⅱ～Ⅴ	2人
2月17日	介護事業所採用力アップセミナー	㈱リクルートキャリア 坂本宗庸氏	Ⅳ～Ⅴ	2人

## やまぼと園

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月2日, 6月8日, 9月3日, 12月14日	沿革、概要、支援業務等	園長、支援課長他3名	I	6人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月31日	障がいの理解について	秋田大学教育文化学部 鈴木徹氏	I～III	20人
8月4日	個別支援計画作成と意思決定支援	鈴木宏郎係長	I～II	16人
10月12日～31日	介護技術研修（更衣他）	寮内介護福祉士有資格者	I～II	9人
10月7日～30日	てんかん発作と発作リスクへの対応について	鈴木宏郎係長他	I～II	8人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月27～28日	虐待防止・権利擁護について	園長	I～III	59人
6月24日	施設の個人情報保護について	園長	I～III	25人
10月15日	虐待防止、身体拘束、職場環境について	支援課長	I～III	13人
1月15日	チームリーダー研修伝達研修	壽松木郁係長	I～III	16人
2月16日～19日	虐待防止・権利擁護伝達研修	佐々木亮太主任	I～III	41人
6月～2月（月4回）	虐待防止ロールプレイ研修	園長、支援課長他	I～III	51人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
6月29日	接遇（苦情受付時の初期対応）	支援課長	I～III	18人
11月12日	触法障がい者への支援	秋田県地域定着支援センター 森茂氏	I～III	42人
1月20日	感染症予防	看護師	I～IV	6人

※ コロナウィルス感染症ビデオ研修 随時

## 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月27日	事業団新任職員研修	藤原次長、工藤課長他	I	1人
6月16日	事業団管理・監督職員研修	社会保険労務士 中村浩三氏	IV	2人
8月6日	事業団新任等職員研修	外旭川病院 寺永守男氏他	I～II	2人
11月18日	事業団チームリーダー研修	北摂杉の子会 平野貴久氏	II～III	4人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月19日	サビ管見管更新研修	埼玉県 志賀信道氏他1名	II～III	4人
9月30日～10月1日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（実践者）	かわ舟の里角間川 大友卓氏他	II	1人
10月16日	秋田県強度行動障害支援者フォローアップ研修	自閉的eサービス 中山清司氏	II	1人
11月13日, 26日, 12月3日	発達障がい支援者研修会	湯沢市 島津ゆき子保育士	I	3人
12月11日	事業団 実践発表会	高清水園、障害者支援センター御所野	I～IV	4人
1月18日	評価キット研修	生活介護事業所Kai 佐藤宏満氏	II	2人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月6日～7日	障害者虐待防止・権利擁護研修	県障害福祉課 藤原徹氏他	II	1人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月8日	福祉施設従事者向け新型コロナウイルス感染症対策研修会	曾根純之氏、小野崎圭助氏	III	1人
8月26日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 寺田誠氏	III	1人
9月18日	職場のメンタルヘルス「快適職場環境づくり」	産業カウンセラー 阿部洋子氏	III	1人
11月6日	新型コロナウイルス感染症対策出前ワークショップ	曾根純之氏、小野崎圭助氏	III	4人
1月26日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	小野崎和司管理者	II～IV	5人
1月28日	事業団 防災・災害対策研修	日本赤十字秋田短期大学講師 及川真一氏	II	2人

## 障害者支援センター御所野

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
4月1日～7日	新任職員研修	所長・課長他	I、III	4人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
9月2日～27日	新型コロナウイルス感染症対応について	石川 司上席看護師他		23人
11月10日～30日	口腔ケア研修	千羽 富紀子氏		27人
11月18日	高次脳機能障害研修	福田 誠一郎課長		5人
1月20日	ムース食について	高橋 牧子栄養士		5人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
7月29日	虐待疑似体験研修	福田 誠一郎課長		10人
1月27日～2月18日	障害者虐待防止・権利擁護研修（伝達研修）	高瀬 良平主任		22人

### 【事業所外研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
12月7日～8日	課題別研修 I	東北コミュニケーション研究所 高橋利夫氏	III	1人

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
11月17日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	秋田厚生医療センター看護師他		1人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
10月13日	職場のメンタルヘルス	秋田大学健康管理センター教授 伏見雅人氏		2人
10月16日	職場のメンタルヘルス	産業カウンセラー 阿部洋子氏		2人
1月6日～7日	障害者虐待防止・権利擁護研修	県障害福祉課 藤原徹氏他		1人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
8月20日	サービス管理責任者等更新研修	工藤摂子課長他		1人
10月4日	介護ロボット展	県長寿社会課		2人

秋田県点字図書館

【事業所内研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月27日	情報機器・日常生活用具等の使い方	点字図書館職員	全職員	7人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
12月24日	県条例における合理的配慮等について	点字図書館職員	全職員	7人
12月24日	読書ボランティア法の具体的取組等について	点字図書館職員	全職員	7人

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
12月24日	図書館の障害者サービスについて	点字図書館職員	全職員	7人
1月27日	接遇研修	点字図書館職員	全職員	7人
1月27日	支援者（職員）のメンタルヘルスケア	点字図書館職員	全職員	7人
2月26日	手話のあいさつを学ぶ	県障害福祉課 佐藤菜摘氏他	全職員	8人

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月27日	サピエ「ネット責任者」研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会 竹下亘氏他	全職員	8人
8月19日	視覚障がい者情報支援プロジェクト研修会	日本ライティング情報文化センター 久保田文氏	職員	2人

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
1月28日	障害を理由とする差別の解消に向けた県民フォーラム	秋田大学教育文化学 前原和明氏他	職員	1人

## 秋田県聴覚障害者支援センター

### 【事業所内研修】

〈階層別研修（新任・異動者・現任者研修）〉

I 新任等職員研修・II 中堅職員研修・III 指導職研修・IV 監督職研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
5月21日	新任者研修	小澤所長	I	2人

### 【事業所外研修】

〈特別研修〉

一般研修

開催月日	研修内容	講師	対象	参加人員
2月26日	防災研修	秋田市消防本部	職員	1人



## 8. 苦情解決処理状況

### (1) 施設別件数

区 分	(職員の サービスの 接遇等) サービス内容	(サー ビスの 質・量) サービ ス内容	説 明・ 情 報 提 供	施 設・ 設 備	制 度・ 政 策	金 銭	被 害・ 損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継 続 中 の 件 数) 苦 情 解 決 結 果
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア								1		1	0
南部老人福祉総合エリア	4									4	0
高清水園	1	1					3		1	6	0
心身障害者コロニー	3	2						1	2	8	0
由利本荘地域生活支援センター										0	0
阿桜園	1		1							2	0
やまばと園	1	1								2	0
障害者支援センター御所野		5						1		6	0
点字図書館										0	0
計	10	9	1	0	0	0	3	3	3	29	0

### (2) 苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	苦情内容	解 決 策
利用施設	サービス内容 (職員の接遇等)	3	75%	コミセン職員の対応が悪いことについて	管理事業課会議において、受付対応について検証する。申出人不明のためホームページ上に謝罪文を掲載する。
障がい施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	7	28%	支援員の電話対応について	職員の対応が不適切であることを謝罪し、改善のための職員会議で全体に注意喚起を実施したことを説明した。
	サービス内容 (サービスの質と量)	9	36%	短期利用時の対応が不十分であったことについて	職員の対応が不十分であることを謝罪し、職員への引き継ぎを徹底し、再発防止に努めることを説明した。
	被害・損害	3	12%	アパートで生活している利用者が漏水を起し、下階の店舗に損害を与えたことについて	弁済については、全額保険対応となる。利用者については転居を視野に入れて生活支援を継続する。

### (3) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件 数	22	23	19	14	29

#### (4) 苦情解決処理委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
北部老人福祉総合エリア	令和3年3月11日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和2年度苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査集計表 ・第三者委員による助言、意見交換 ・令和2年度の事業報告について
中央地区老人福祉総合エリア	令和3年3月2日	・第三者委員2名 ・職員2名	・苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査報告 ・第三者委員からの助言
南部老人福祉総合エリア	令和3年3月16日	・第三者委員2名 ・職員9名	・苦情内容及び解決報告 ・第三者委員による助言、意見交換
高清水園	書面報告	・第三者委員2名	・高清水園の運営状況 ・令和2年度苦情解決報告 ・令和2年度「なんでも相談」実施状況
心身障害者コロニー	令和3年3月3日	・第三者委員2名 ・職員11名	・各部署より苦情処理状況報告 ・第三者委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	令和3年3月10日	・第三者委員2名 ・職員6名	・苦情解決処理状況 ・利用者・保護者満足度調査報告 ・第三者委員からの助言
阿桜園	令和3年3月25日	・第三者委員3名 ・職員8名	・令和2年度の苦情状況について ・第三者委員との意見交換
やまばと園	毎月実施	・職員8～9名	・各寮の苦情、要望受付について ・苦情受付状況について ・利用者「何でも聞きます会」について
	令和2年9月 令和3年3月	・第三者委員2名 ・親の会代表委員2名 ・職員8名	・令和2年度苦情解決処理状況報告 ・第三者委員、親の会代表委員より講評と助言
支援センター御所野	令和3年3月3日	・第三者委員2名 ・職員4名	・令和2年度苦情申出・解決状況の報告 ・第三者委員より講評と助言
点字図書館	令和3年3月7日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和2年度苦情解決処理について ・令和2年度顧客満足度調査について ・第三者委員講評
聴覚障害者支援センター	書面審査	・第三者委員2名	・令和2年度苦情解決処理について ・第三者委員より講評と助言

## 9. 虐待防止委員会の開催状況

施設名	開催日等	出席者人数	会議内容
南部老人福祉総合エリア	年6回実施 (身体拘束等適正化委員会含む。)	・職員8～11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度年間計画について</li> <li>・虐待防止及び身体拘束対応マニュアル変更について</li> <li>・虐待防止への具体的な取組について</li> <li>・標語の掲示について</li> <li>・虐待防止標語の啓発の取組について</li> <li>・虐待防止チェックリストの実施について</li> <li>・虐待防止研修(ロールプレイ、スピーチロック)について</li> <li>・虐待防止チェックリストからの検証</li> <li>・身体的拘束等の適正化のための対策</li> <li>・各施設の支援状況報告</li> <li>・令和3年度虐待防止標語について</li> </ul>
	令和2年 9月25日 令和3年 3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員2名</li> <li>・白寿園施設長</li> <li>・利用者代表</li> <li>・職員8～11名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組について</li> <li>・委員会実施状況</li> <li>・虐待防止チェックリストについて</li> <li>・職員への研修状況について</li> <li>・職員アンケートについて</li> <li>・虐待防止標語について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
高清水園	年11回実施	・職員10名前後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組について</li> <li>・安全確保のための動作制限について</li> <li>・チェックリストについて</li> <li>・虐待防止研修について</li> <li>・指針の作成について</li> <li>・満足度調査について(利用者)</li> </ul>
	令和2年 9月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員2名</li> <li>・職員3名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止チェックリスト集計結果</li> <li>・上半期虐待報告事例</li> <li>・第三者委員講評</li> </ul>
	令和3年 3月 (書面報告)	・第三者委員3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度虐待防止実施状況報告</li> <li>・令和3年度虐待防止推進年間計画</li> <li>※報告書類について承諾書を署名、捺印にて返送してもらう。</li> </ul>
心身障害者コロニー	年16回実施	・職員10～14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止責任者会議報告</li> <li>・虐待防止マニュアルの改正要旨</li> <li>・各課の虐待を疑われるケース</li> <li>・虐待防止チェックリストの結果</li> <li>・虐待防止チェックリスト実施結果による今後の対応</li> <li>・各課より結果と対策</li> <li>・動作制限カンファレンス</li> </ul>
	令和2年 7月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員2名</li> <li>・地域1名</li> <li>・利用者2名</li> <li>・保護者1名</li> <li>・職員12名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県実地確認の結果</li> <li>・市への虐待通報</li> <li>・虐待の疑いの案件</li> <li>・委員より講評・助言</li> <li>・自己点検の実施</li> <li>・利用者虐待防止マニュアル変更追加</li> </ul>
	令和2年 9月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員2名</li> <li>・地域1名</li> <li>・利用者2名</li> <li>・保護者1名</li> <li>・職員14名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人虐待防止責任者会議報告</li> <li>・現場チェック(リモート)</li> <li>・動作制限カンファレンス</li> <li>・第1回虐待防止チェックリスト結果報告</li> <li>・虐待防止に関する取組報告</li> <li>・委員より講評・助言</li> </ul>
	令和3年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員2名</li> <li>・地域1名</li> <li>・利用者2名</li> <li>・保護者1名</li> <li>・職員14名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回虐待防止委員会以降の報告</li> <li>・第2回虐待防止チェックリスト結果報告</li> <li>・虐待防止に関する取組報告</li> <li>・委員より講評・助言</li> <li>・来年度の虐待防止マニュアルの改正</li> </ul>

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
由利本荘地域生活支援センター	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員 4～7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止チェックリストの実施方法について</li> <li>虐待を疑われるケースについて検討</li> <li>虐待防止チェックリスト結果について</li> <li>虐待防止マネージャーの指導状況について</li> </ul>
	虐待防止委員会 令和2年10月26日 令和3年 3月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員 2名</li> <li>利用者 2名</li> <li>保護者 1名</li> <li>職員 12名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度取組事項について</li> <li>虐待防止委員より講評と助言</li> </ul>
阿桜園	毎月実施 (第3木曜日)	・職員 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の疑いによる通報案件について</li> <li>利用者の動作制限について</li> <li>虐待防止チェックリスト結果について</li> </ul>
	令和2年 9月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員 1名</li> <li>利用者 1名</li> <li>保護者 1名</li> <li>職員 9名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿桜園における虐待防止に向けた取組について</li> <li>「秋田県社会福祉事業団虐待防止チェックリスト」に基づく自己点検結果について</li> <li>意見交換</li> </ul>
	令和3年 3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員 1名</li> <li>利用者 1名</li> <li>保護者 1名</li> <li>職員 9名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第2回阿桜園虐待防止チェックリスト」に基づく自己点検結果について</li> <li>第1回虐待防止委員会後の虐待防止に向けた取組について</li> <li>意見交換</li> </ul>
やまばと園	毎月実施	・職員 8～9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>各寮の状況について</li> <li>令和2年度の取組について</li> <li>虐待防止チェックリスト集計結果について</li> <li>虐待に係る利用者への聞き取りについて</li> <li>虐待を疑われるケース（不適切な支援）について検討、防止策</li> </ul>
	令和2年 9月14日 令和2年12月25日 令和3年 3月 2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員 2名</li> <li>親の会代表委員 2名</li> <li>利用者代表 1名</li> <li>職員 8名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度取組の進捗状況について</li> <li>虐待を疑われるケース（不適切な支援）について</li> <li>質疑応答・意見交換</li> </ul>
支援センター御所野	年6回実施	・職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の取組について</li> <li>虐待を疑われる事案について</li> <li>チェックリスト、防止月間について</li> <li>虐待防止委員会、研修について</li> <li>満足度調査、追加アンケートについて</li> <li>追加アンケート、責任者会議について</li> </ul>
	令和2年5月20日 令和2年9月30日 令和3年3月 3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員 2名</li> <li>利用者 1名</li> <li>身元引受人 1名 (5/20欠席)</li> <li>職員 4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不適切支援について</li> <li>チェックリスト等の取組について</li> <li>追加アンケート、接遇調査等取組について</li> </ul>

## 10. ハイクオリティサービス推進システム

項目	内容
マネジメントレビュー	マネジメントレビューは、理事長からの指示に基づき各施設長がサービス改善に取り組むもので、今年度は下記の2点について実施した。
	<p>①利用者の人権擁護を基本とした虐待防止の取組強化について 全施設が最重要課題と捉え、虐待防止委員会の定期的な開催や研修の実施、虐待防止チェックリストに基づく検証、標語や川柳の掲示による啓発活動など、各施設が工夫を凝らし改善への取組強化を図った。</p> <p>②ケアマネジメントプロセスに基づく個別支援計画の策定について 個別支援計画実践マニュアルの一部改正を踏まえ、利用者の意思がより尊重され、本人の意思決定に基づくサービスの提供ができるよう取り組んだ。</p>
自己評価	事業団自己評価基準に基づき、全職員が毎年一回実施し、その結果からサービス改善に向け取り組んだ。
	<p>【コロニー】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い外出、行事等が困難となり、利用者の余暇活動やレクリエーション活動も制限されている。コロナ禍においても楽しむことのできる余暇活動について検討し、利用者にとって楽しみのある生活が提供出来るよう施設全体の検討課題とした。</p> <p>【阿桜園】 認知症理解を深める研修や転倒防止策の検討、介護用品の検討など利用者の高齢化・重度化への対応について取組を進めた。</p>
内部監査	ハイクオリティサービス推進システムに定められた規格類やマニュアルが適切に運用されているかを毎年一回監査し、書類及びヒアリングによる確認を実施した。
	<p>○軽微な指摘 2件 ・転倒、骨折した事案に対する事故報告書未提出 ・特定施設サービス計画実践マニュアルの未整備</p> <p>○観察事項 18件 ・虐待防止チェックリストに係る検証不足 ・事故報告書、個別支援計画に係る記載事項の不足 ・マニュアル改正に伴う書類整備不足 など</p>
ヒヤリ・ハット報告	総計741件（令和元年度総計：695件）
	<p>・誤薬に関して、施設内でのルールの一統化、マニュアルに沿った支援の徹底、不規則な勤務体制の中でも防止策の周知徹底ができるような体制作りが課題として挙げられている。</p> <p>・700件を超えるヒヤリ・ハット件数について、報告書類作成業務、集計作業が煩雑となる中、運用面を見直し作業の効率化を検討中である。</p>

## 11. 地域密着型サービス外部評価事業

「認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）」は、事業所が提供するサービスの質の向上とサービスを利用する側が事業所を選択する際の情報提供を目的とし、年1回の外部評価の受審が義務付けられている。

秋田県社会福祉事業団は、秋田県から外部評価機関としての指定を受け、平成17年から外部評価業務を実施しており、調査員は医療・保健・福祉の実務経験者等33名で構成され、令和2年度は57事業所の評価を実施した。

### 審査委員会

開催日	内容
令和2年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度地域密着型サービス外部評価事業についての説明</li> <li>「事業所アンケート」集計結果報告</li> <li>「家族アンケート」集計結果報告</li> </ul>